#### (19) 世界知的所有権機関 国際事務局





(43) 国際公開日 2005 年9 月9 日 (09.09.2005)

**PCT** 

## (10) 国際公開番号 WO 2005/083077 A1

(51) 国際特許分類<sup>7</sup>: C12N 15/09, 1/21, C12P 13/04

(21) 国際出願番号: PCT/JP2005/003694

(22) 国際出願日: 2005 年2 月25 日 (25.02.2005)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:

特願2004-053361 2004年2月27日(27.02.2004) JP

(71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 協和醱酵 工業株式会社(KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1008185 東京都千代田区大手町一丁目 6 番 1号 Tokyo (JP).

(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 橋本 信一 (HASHIMOTO, Shin-ichi). 寺園 浩一 (TERAZONO, Kouichi). 安原 昭典 (YASUHARA, Akinori). 松下一 信 (MATSUSHITA, Kazunobu).

(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR,

BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

#### 添付公開書類:

- 一 国際調査報告書
- 明細書とは別に規則13の2に基づいて提出された 生物材料の寄託に関する表示。

2文字コード及び他の略語については、定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: PROCESS FOR PRODUCING AMINO ACID

「(54)発明の名称:アミノ酸の製造法

(57) **Abstract:** A microbe obtained by introducing DNA coding for NADH dehydrogenase constituting an NADH dehydrogenase complex wherein the number of proton molecules dischargeable per electron is zero among NADH dehydrogenase complexes acting as a proton pump in an electron transport system of aerobic bacteria. There is further provided an industrially advantageous process for producing an amino acid, characterized in that this microbe is utilized.

I (57) 要約: 本発明は、好気性細菌の電子伝達系においてプロトンポンプとして作用するNADHデヒドロゲナーゼ複合 体のうち、電子1個あたり排出できるプロトン分子数がゼロであるNADHデヒドロゲナーゼ複合体を構成するNADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入して得られる微生物および該微生物を用いることを特徴とする工業的 に有利なアミノ酸の製造法を提供する。



### 明細書

## アミノ酸の製造法

#### 技術分野

本発明は、アミノ酸の製造法に関する。

## 背景技術

近年、微生物の電子伝達系に変異を施し、アミノ酸等の物質の生産性を向上させる試みが報告されている。

例えば、エシェリヒア・コリのエネルギー産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを増幅させるか、またはエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを欠損させることでアミノ酸の生産性が向上することが報告されている(特開 2002-17363 号)。

また、バチルス・サブチリス(<u>Bacillus</u> <u>subtilis</u>)において、エネルギー生成 効率の高いチトクロム bc オキシダーゼをコードするDNAを増幅することによっ てリボフラビンの生産性が向上することが報告されている(W003/072785 号)。

電子伝達系における変異が微生物の生育に及ぼす影響について、Molenaar らはコリネバクテリウム・グルタミカム (Corynebacterium glutamicum) の NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを破壊したが、生育等への影響はなかったことを報告している〔Journal of Bacteriology, 182, p.6884-6891 (2000)〕。

このように微生物の電子伝達系における変異が、該微生物による物質の生産性に 影響を及ぼす可能性のあることが知られているが、どのように影響するかを予測す ることは難しい。

従来の方法に加えてさらに物質の生産性を向上させる方法の開発が望まれている。

#### 発明の開示

本発明の目的は、工業的に有利なアミノ酸の製造法を提供することにある。 本発明は以下の(1)~(26)に関する。

- (1) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNAを導入して得られる微生物を培地に培養し、培養物中にアミノ酸を生成、蓄積させ、該培養物よりアミノ酸を採取することを特徴とするアミノ酸の製造法。
- (2) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、コリネバクテリウム (Corynebacterium) 属、エシェリヒア (Escherichia) 属、シュードモナス属 (Pseudomonas) 属、アゾトバクター (Azotobacter) 属、サルモネラ (Salmonella) 属およびラクトバチルス (Lactobacillus) 属に属する微生物からなる群より選ばれる微生物由来のDNA、または該DNAの塩基配列と相補的な塩

基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAであることを特徴とする、上記(1)の製造法。

- (3) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、コリネバクテリウム・グルタミカム (<u>Corynebacterium glutamicum</u>)、コリネバクテリウム・ジフテリア (<u>Corynebacterium diphtheriae</u>)、エシェリヒア・コリ
- (Escherichia coli)、シュードモナス・フルオレッセンス (Pseudomonas fluorescens)、アゾトバクター・ビネランディー (Azotobacter vinelandii)、サルモネラ・ティフィムリウム (Salmonella typhimurium) およびラクトバチルス・プランタラム (Lactobacillus plantarum) に属する微生物からなる群より選ばれる微生物由来のDNA、または該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAであることを特徴とする、上記(1)の製造法。
- (4) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、配列番号3、5、7、9、11、13および15で表される塩基配列からなる群より選ばれる塩基配列を有するDNA、または該塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAである、上記(1)の製造法。
  - (5) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh (FERM BP-08633) の保有するプラスミド pCS-CGndh の有するエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAまたは該 DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドをコードするDNAである、上記(1)の製造法。
  - (6) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼが、配列番号4、6、8、1 0、12、14および16で表されるアミノ酸配列からなる群より選ばれるアミノ酸配列を有するポリペプチド、または該ポリペプチドの有するアミノ酸配列において、1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドであることを特徴とする上記(1)の製造法。
  - (7) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼが、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh (FERM BP-08633) の保有するプラスミド pCS-CGndh の有するエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNAにコードされるポリペプチド、または該ポリペプチドの有するアミノ酸配列において、1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドであることを特徴とする上記 (1) の製造法。

(8) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入する微生物が、エシェリヒア (Escherichia) 属、コリネバクテリウム属 (Corynebacterium)、ブレビバクテリウム (Brevibacterium) 属、アースロバクター (Arthrobacter) 属、オーレオバクテリウム (Aureobacterium) 属、セルロモナス (Cellulomonas) 属、クラビバクター (Clavibacter) 属、クルトバクテリウム (Curtobacterium) 属、ミクロバクテリウム (Microbacterium) 属、ピメロバクター (Pimerobacter) 属およびバチルス (Bacillus) 属に属する微生物からなる群より選ばれる微生物である、上記(1)~(7)いずれか1つの製造法。

- (9) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNA を導入する微生物が、エシェリヒア属に属する微生物である、上記(1)~(7) いずれか1つの製造法。
- (10) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入する微生物が、エシェリヒア・コリに属する微生物である、上記(1)~(7)いずれか1つの製造法。
- (11) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入する微生物が、コリネバクテリウム属に属する微生物である、上記(1)~(7)いずれか1つの製造法。
- (12) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入する微生物が、コリネバクテリウム・グルタミカム(Corynebacterium glutamicum)、コリネバクテリウム・フラバム(Corynebacterium flavum)、コリネバクテリウム・ラクトファーメンタム(Corynebacterium lactofermentum)およびコリネバクテリウム・エフィカシス(Corynebacterium efficasis)に属する微生物からなる群より選ばれる微生物である、上記(1)~(7)いずれか1つの製造法。
- (13) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入する微生物が、コリネバクテリウム・グルタミカムに属する微生物である、上記(1)~(7)いずれか1つの製造法。
- (14) アミノ酸が、L-グルタミン酸、L-グルタミン、L-アスパラギン酸、L-アスパラギン、L-リジン、L-メチオニン、L-トレオニン、L-アルギニン、L-プロリン、L-シトルリン、L-バリン、L-ロイシン、L-イソロイシン、L-セリン、L-システイン、グリシン、L-トリプトファン、L-チロシン、L-フェニルアラニンおよび<math>L-ヒスチジンからなる群より選ばれるアミノ酸である、上記(1)~(13)いずれか1つの製造法。
- (15) アミノ酸が、L-グルタミン酸、<math>L-グルタミンおよびL-リジンから なる群より選ばれるアミノ酸である、上記(1)~(13)いずれか1つの製造法。

(16) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNAを導入して得られるコリネバクテリウムに属する微生物。

- (17) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNAを導入して得られるコリネバクテリウム・グルタミカムに属する微生物。
- (18) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、コリネバクテリウム属、エシェリヒア属、シュードモナス属、アゾトバクター属、サルモネラ属およびラクトバチルス属に属する微生物からなる群より選ばれる微生物由来のDNA、または該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAである、上記(16)または(17)の微生物。
- (19) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、コリネバクテリウム・グルタミカム、コリネバクテリウム・ジフテリア、エシェリヒア・コリ、シュードモナス・フルオレッセンス、アゾトバクター・ビネランディー、サルモネラ・ティフィムリウムおよびラクトバチルス・プランタラムに属する微生物からなる群より選ばれる微生物由来のDNA、または該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAである、上記(16)または(17)の微生物。
- (20) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、配列番号3、5、7、9、11、13および15で表される塩基配列からなる群より選ばれる塩基配列を有するDNA、または該塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAである、上記(16)または(17)の微生物。
- (21) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh (FERM BP-08633) の保有するプラスミド pCS-CGndh の有するエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAまたは該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドをコードするDNAである、上記(16)または(17)の微生物。
- (22) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼが、配列番号 4、6、8、10、12、14 および 16 で表されるアミノ酸配列からなる群より選ばれるアミノ酸配列を有するポリペプチド、または該ポリペプチドの有するアミノ酸配列において、1 以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドである、上記(16)または(17)の微生物。

(23) エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼが、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh (FERM BP-08633) の保有するプラスミド pCS-CGndh の有するエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAによりコードされるポリペプチド、または該ポリペプチドの有するアミノ酸配列において、1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドであることを特徴とする上記(16)または(17)の微生物。

- (24) コリネバクテリウム・グルタミカム ATCC14752/pCS-CGndh、またはコリネバクテリウム・グルタミカム FERM BP-1069/pCS-CGndh。
  - (25) エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh (FERM BP-08633)。
- (26) エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh(FERM BP-08633)の保有するプラスミド pCS-CGndh。

## 発明を実施するための最良の形態

本発明に用いられるエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ(以下、NDHポリペプチドともいう)は、好気性細菌の電子伝達系においてプロトンポンプとして作用する NADH デヒドロゲナーゼ複合体のうち、電子 1 個あたり排出できるプロトン分子数がゼロである NADH デヒドロゲナーゼ複合体を構成する NADH デヒドロゲナーゼの活性(以下、エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性と略す)を有するポリペプチドであれば、いずれのポリペプチドであってもよい。

NDHポリペプチドとしては、例えば、コリネバクテリウム

(<u>Corynebacterium</u>) 属、エシェリヒア (<u>Escherichia</u>) 属、シュードモナス属 (Pseudomonas) 属、アゾトバクター (Azotobacter) 属、サルモネラ

(Salmonella) 属、ラクトバチルス (Lactobacillus) 属に属する微生物等に由来する公知のNDHポリペプチドをあげることができる。

コリネバクテリウム属に属する微生物としては、コリネバクテリウム・グルタミカム (Corynebacterium glutamicum)、コリネバクテリウム・ジフテリア

(Corynebacterium diphtheriae) に属する微生物等をあげることができる。

エシェリヒア(<u>Escherichia</u>) 属に属する微生物としては、エシェリヒア・コリ (Escherichia coli) に属する微生物等をあげることができる。

シュードモナス属に属する微生物としては、シュードモナス・フルオレッセンス (Pseudomonas fluorescens) に属する微生物等をあげることができる。

アゾトバクター属に属する微生物としては、アゾトバクター・ビネランディー (Azotobacter vinelandii) に属する微生物をあげることができる。

サルモネラ属に属する微生物としては、サルモネラ・ティフィムリウム (Salmonella typhimurium) に属する微生物をあげることができる。

ラクトバチルス属に属する微生物としては、ラクトバチルス・プランタラム (<u>Lactobacillus plantarum</u>) に属する微生物をあげることができる。

これらの微生物に由来するNDHポリペプチドとしては、例えば、コリネバクテリウム属に属する微生物に由来する配列番号4または6で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチド、エシェリヒア属に属する微生物に由来する配列番号8で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチド、シュードモナス属に属する微生物に由来する配列番号10で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチド、アゾトバクター属に属する微生物に由来する配列番号12で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチド、サルモネラ属に属する微生物に由来する配列番号14で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチド、ラクトバチルス属に属する微生物に由来する配列番号16で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチド等の公知のNDHポリペプチドをあげることができる。

また、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh(FERM BP-08633)の保有するプラスミド pCS-CGndh が有する、コリネバクテリウム・グルタミカム由来のエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNA(ndh)によりコードされるポリペプチド(以下、NDHポリペプチドAと略す)もNDHポリペプチドとしてあげることができる。

さらに、本発明に用いられるNDHポリペプチドは、エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有していれば、NDHポリペプチドAまたは公知のNDH ポリペプチドの有するアミノ酸配列に1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加 されたアミノ酸配列からなるポリペプチドであってもよい。

NDHポリペプチドAまたは公知のNDHポリペプチドの有するアミノ酸配列に 1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなるポリペプチドは、Molecular Cloning, A Laboratory Manual, Third Edition, Cold Spring Harbor Laboratory Press (2001) (以下、モレキュラー・クローニング第3版と略す)、Current Protocols in Molecular Biology, John Wiley & Sons (1987-1997) (以下、カレント・プロトコールズ・イン・モレキュラー・バイオロジーと略す)、Nucleic Acids Research, 10, 6487 (1982)、Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 79, 6409(1982)、Gene, 34, 315 (1985)、Nucleic Acids Research, 13, 4431 (1985)、Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 82, 488 (1985)等に記載の部位特異的変異導入法を用いて、NDHポリペプチドAまたは公知のNDHポリペプチドをコードするDNAに部位特異的変異を導入することにより、取得することができる。

欠失、置換若しくは付加されるアミノ酸の数は特に限定されないが、上記の部位特異的変異法等の周知の方法により欠失、置換もしくは付加できる程度の数であり、1個から数十個、好ましくは $1\sim2$ 0個、より好ましくは $1\sim1$ 0個、さらに好ましくは $1\sim5$ 個である。

NDHポリペプチドAまたは公知のNDHポリペプチドの有するアミノ酸配列に おいて1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたとは、同一配列中の任意 かつ1もしくは複数のアミノ酸配列中の位置において、1または複数のアミノ酸の 欠失、置換若しくは付加があることを意味し、欠失、置換若しくは付加が同時に生 じてもよい。

置換若しくは付加されるアミノ酸は天然型と非天然型とを問わない。

天然型アミノ酸としては、L-アラニン、L-アスパラギン、L-アスパラギン酸、L-グルタミン、L-グルタミン酸、グリシン、L-ヒスチジン、L-イソロイシン、L-ロイシン、L-リジン、L-アルギニン、L-メチオニン、L-フェニルアラニン、L-プロリン、L-セリン、L-スレオニン、L-トリプトファン、L-チロシン、L-バリン、L-システインなどがあげられる。

以下に、相互に置換可能なアミノ酸の例を示す。同一群に含まれるアミノ酸は相 互に置換可能である。

A群:ロイシン、イソロイシン、ノルロイシン、バリン、ノルバリン、アラニン、2-アミノブタン酸、メチオニン、O-メチルセリン、t-ブチルグリシン、t-ブチルアラニン、シクロヘキシルアラニン

B群:アスパラギン酸、グルタミン酸、イソアスパラギン酸、イソグルタミン酸、2-アミノアジピン酸、2-アミノスベリン酸

C群:アスパラギン、グルタミン

D群:リジン、アルギニン、オルニチン、2,4-ジアミノブタン酸、2,3-ジアミノ プロピオン酸

E群:プロリン、3-ヒドロキシプロリン、4-ヒドロキシプロリン

F群:セリン、スレオニン、ホモセリン

'G群:フェニルアラニン、チロシン

また、NDHポリペプチドAまたは公知のNDHポリペプチドに1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を有するポリペプチドがエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するためには、欠失、置換若しくは付加前のポリペプチドと、少なくとも60%以上、通常は80%以上、特に95%以上の相同性を有していることが好ましい。

アミノ酸配列や塩基配列の相同性は、Karlin and Altschul によるアルゴリズム BLAST [Pro. Natl. Acad. Sci. USA, 90, 5873(1993)] や FASTA [Methods Enzymol., 183, 63 (1990)] を用いて決定することができる。このアルゴリズム BLAST に基づいて、BLASTN や BLASTX とよばれるプログラムが開発されている [J. Mol. Biol., 215, 403(1990)]。

BLAST に基づいて BLASTN によって塩基配列を解析する場合には、パラメータは 例えば Score=100、wordlength=12 とする。また、BLAST に基づいて BLASTX によ

ってアミノ酸配列を解析する場合には、パラメータは例えば score=50、 wordlength=3 とする。BLAST と Gapped BLAST プログラムを用いる場合には、各プログラムのデフォルトパラメーターを用いる。これらの解析方法の具体的な手法は公知である(http://www.ncbi.nlm.nih.gov.)。

NDHポリペプチドのエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼの活性は、たとえば FEMS Microbiology Letters,  $\underline{204}$ , 271 (2001)の記載に準じて、エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ、ユビキノン-1 および NADH を含有する反応液における 275nm または 340nm での吸光度の減少を測定することにより測定することができる。

NDHポリペプチドをコードするDNAとしては、エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドをコードするDNAであれば、いずれのDNAであってもよい。

NDHポリペプチドをコードするDNAとしては、例えば、NDHポリペプチドAをコードする、エシェリヒア・コリ DH5 α/pCS-CGndh (FERM BP-08633)の保有するプラスミド pCS-CGndh が有するコリネバクテリウム・グルタミカム由来のNADH デヒドロゲナーゼをコードするDNA、配列番号4、6、8、10、12、14および16で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドをそれぞれコードする、配列番号3、5、7、9、11、13および15で表される塩基配列を有するDNA等の公知のNDHポリペプチドをコードするDNA等をあげることができる。本発明に用いられるNDHポリペプチドをコードするDNAは、NDHポリペプチドAまたは公知のNDHポリペプチドをコードするDNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつエネルギー非産生型NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドをコードするDNAであってもよい。

NDHポリペプチドAまたは公知のNDHポリペプチドをコードするDNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAとは、例えば、NDHポリペプチドAまたは公知のNDHポリペプチドをコードするDNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAの一部、または全部をプローブとして、コロニー・ハイブリダイゼーション法、プラーク・ハイブリダイゼーション法あるいはサザンブロットハイブリダイゼーション法等を用いることにより得られるDNAを意味する。

具体的には、コロニーあるいはプラーク由来のDNAを固定化したフィルターを用いて、0.7~1.0mol/l の塩化ナトリウム存在下、65℃でハイブリダイゼーションを行った後、0.1~2 倍濃度の SSC 溶液(1 倍濃度の SSC 溶液の組成は、150mmol/l 塩化ナトリウム、15mmol/l クエン酸ナトリウムよりなる)を用い、65℃条件下でフィルターを洗浄することにより同定できるDNAをあげることができる。

ハイブリダイゼーションは、モレキュラー・クローニング第3版、カレント・プロトコールズ・イン・モレキュラー・バイオロジー、DNA Cloning 1: Core Techniques, A Practical Approach, Second Edition, Oxford University (1995) 等に記載されている方法に準じて行うことができる。

NDHポリペプチドAまたは公知のNDHポリペプチドをコードするDNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAとしては、上記 BLAST や FASTA 等を用いて計算したときに、NDHポリペプチドAまたは公知のNDHポリペプチドをコードするDNAの塩基配列と 75%以上の相同性を有するDNA、好ましくは 80%以上の相同性を有するDNA、さらに好ましくは 95%以上の相同性を有するDNAをあげることができる。

NDHポリペプチドをコードするDNAは、好気性細菌であって、電子伝達系にエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼを有する微生物から下記の方法に準じて調製することができる。電子伝達系にエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼを有する微生物としては、例えば、コリネバクテリウム・グルタミカム

(Corynebacterium glutamicum) 等のコリネバクテリウム (Corynebacterium) 属、ブレビバクテリウム (Brevibacterium) 属、アースロバクター (Arthrobacter) 属、オーレオバクテリウム (Aureobacterium) 属、セルロモナス (Cellulomonas) 属、クラビバクター (Clavibacter) 属、クルトバクテリウム (Curtobacterium) 属、ミクロバクテリウム (Microbacterium) 属、ピメロバクター (Pimerobacter) 属に属する微生物等のいわゆるコリネ型細菌、エシェリヒア・コリ (Escherichia coli) 等のエシェリヒア (Escherichia) 属に属する微生物、シュードモナス・フルオレッセンス (Pseudomonas fluorescens) 等のシュードモナス (Pseudomonas) 属に属する微生物、アゾトバクター・ビネランディー (Azotobacter vinelandii) 等のアゾトバクター (Azotobacter) 属に属する微生物、サルモネラ・ティフィムリウム (Salmonella typhimurium) 等のサルモネラ (Salmonella) 属に属する微生物、ラクトバチルス・プランタラム (Lactobacillus plantarum) 等のラクトバチルス (Lactobacillus) 属に属する微生物等をあげることができる。

上記微生物を公知の方法〔例えば、Mol. Microbiol., <u>20</u>, 833 (1996) に記載の方法〕により培養し、培養後、公知の方法(例えば、カレント・プロトコールズ・イン・モレキュラー・バイオロジーに記載の方法)により、該微生物の染色体DNAを単離精製する。

公知のNDHポリペプチドをコードするDNAの塩基配列をもとに合成したDNAをプライマーとして用い、単離精製された上記微生物の染色体DNAを鋳型としてPCR法 [PCR Protocols, Academic Press (1990)] を用いて目的とするDNAを取得することができる。

プライマーとしては、例えば、配列番号3で表される塩基配列を有する、コリネバクテリウム・グルタミカムに属する微生物のndhの塩基配列をもとに設計した配列番号1および2で表される塩基配列を有するDNAをあげることができる。

また、以下の方法によっても、目的とするDNAを取得することができる。

単離精製した染色体DNAを用いて、モレキュラー・クローニング第3版やカレント・プロトコールズ・イン・モレキュラー・バイオロジー、DNA Cloning 1: Core Techniques, A Practical Approach, Second Edition, Oxford University Press (1995)等に記載された方法に準じてDNAライブラリーを作製する。

DNAライブラリーを作製するためのクローニングベクターとしては、エシェリヒア・コリ K12 株中で自立複製できるものであれば、ファージベクター、プラスミドベクター等いずれでも使用できる。具体的には、ZAP Express [ ストラタジーン社製、Strategies,  $\underline{5}$ , 58 (1992)]、 $\lambda$  zap II (ストラタジーン社製)、 $\lambda$  gt10、 $\lambda$  gt11 [ DNA Cloning, A Practical Approach,  $\underline{1}$ , 49 (1985)]、 $\lambda$  Triplex (クローンテック社製)、 $\lambda$  ExCell ( アマシャム・ファルマシア・バイオテク社製)、pBluescript II KS(-)、pBluescript II SK(+) [ ストラタジーン社製、Nucleic Acids Research,  $\underline{17}$ , 9494 (1989)]、 pUC18 [ Gene,  $\underline{33}$ , 103 (1985)] 等をあげることができる。

DNAを組み込んだベクターをエシェリヒア・コリに属する微生物に導入する。エシェリヒア・コリに属する微生物としては、エシェリヒア・コリに属する微生物であればいずれでも用いることができる。具体的には、エシェリヒア・コリ XL1-Blue MRF' 〔ストラタジーン社製、Strategies,  $\underline{5}$ , 81(1992)〕、エシェリヒア・コリ C600 〔Genetics、 $\underline{39}$ , 440(1954)〕、エシェリヒア・コリ Y1088 〔Science,  $\underline{222}$ , 778(1983)〕、エシェリヒア・コリ Y1090 〔Science,  $\underline{222}$ , 778(1983)〕、エシェリヒア・コリ NM522 〔J. Mol. Biol.,  $\underline{166}$ , 1(1983)〕、エシェリヒア・コリ JM109 〔Gene,  $\underline{38}$ , 275(1985)〕、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$  〔J. Mol. Biol., 166, 557(1983)〕等をあげることができる。

モレキュラー・クローニング第3版、カレント・プロトコールズ・イン・モレキュラー・バイオロジー、DNA Cloning 1: Core Techniques, A Practical Approach, Second Edition, Oxford University (1995)等の実験書に記載されているコロニー・ハイブリダイゼーション法、プラーク・ハイブリダイゼーション法あるいはサザンハイブリダイゼーション法等により、得られたDNAライブラリーから目的とするクローンを取得することができる。

ハイブリダイゼーションに用いるDNAプローブとしては、公知のNDHポリペプチドをコードするDNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAまたはその一部、公知のNDHポリペプチドをコードするDNAの塩基配列をもとに合成し

たDNAなどの他、公知の塩基配列を利用して設計したDNAプライマーを用いて PCRなどにより取得したDNA断片などをあげることができる。

例えば、配列番号3で表される塩基配列を有する、コリネバクテリウム・グルタミカムに属する微生物のndhの塩基配列をもとに設計した配列番号1および2で表される塩基配列を有するDNAを、パーセプティブ・バイオシステムズ社製8905型DNA合成装置等を用いて化学合成し、該合成DNAをプライマーとして、コリネバクテリウム・グルタミカムに属する微生物から取得したDNA断片などを例示することができる。

取得したDNAをそのまま、あるいは適当な制限酵素などで切断後、常法によりベクターに組み込み、通常用いられる塩基配列解析方法、例えばABI377DNAシークエンサー(パーキン・エルマー社製)等を用いたジデオキシ法〔Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 74, 5463(1977)〕により、該DNAの塩基配列を決定する。

さらに、決定された塩基配列に基づいたプライマーを調製し、単離精製された染色体DNAを鋳型として、PCR法 [PCR Protocols, Academic Press (1990)] により、目的とするDNAを取得することができる。

また、決定されたDNAの塩基配列に基づいて、パーセプティブ・バイオシステムズ社製 8905 型DNA合成装置等を用いて化学合成することにより目的とするDNAを調製することもできる。

上記のようにして取得される本発明に用いられるポリペプチドをコードするDNAとして、例えば、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh(FERM BP-08633)の保有するプラスミド pCS-CGndh が有するエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAをあげることができる。該DNAは、NDHポリペプチドAをコードするDNAである。

得られた本発明に用いられるポリペプチドをコードするDNAを宿主微生物に導入することにより、本発明のアミノ酸の製造法に用いられる微生物を作製することができる。

本発明に用いられるポリペプチドコードするDNAを宿主微生物に導入する方法としては、該DNAを適当な発現ベクターのプロモーターの下流に挿入して組換え体DNAを作製し、該組換え体DNAを宿主微生物に導入する方法をあげることができる。

宿主微生物は、好気性細菌であれば特に限定されない。また、該微生物の電子伝達系は、特にエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼを用いるものでなくてもよい。

宿主微生物としては、例えば、エシェリヒア(<u>Escherichia</u>) 属、コリネバクテリウム(<u>Corynebacterium</u>) 属、ブレビバクテリウム(<u>Brevibacterium</u>) 属、アースロバクター(<u>Arthrobacter</u>)属、オーレオバクテリウム(<u>Aureobacterium</u>)属、

セルロモナス(Cellulomonas)属、クラビバクター(Clavibacter)属、クルトバクテリウム(Curtobacterium)属、ミクロバクテリウム(Microbacterium)属、ピメロバクター(Pimerobacter)属、エンテロバクター(Enterobacter)属、クレブシエラ(Klebsiella)属、セラチア(Serratia)属、エルビニア(Erwinia)属、バチルス(Bacillus)属、シュードモナス(Pseudomonas)属、アグロバクテリウム(Agrobacterium)属、アナベナ(Anabaena)属、クロマチウム(Chromatium)属、ロドバクター(Rhodobacter)属、ロドシュードモナス(Rhodopseudomonas)属、ロドスピリウム(Rhodospirillum)属、ストレプトマイセス(Streptomyces)属、ザイモモナス(Zymomonas)属等に属する微生物があげられる。

エシェリヒア属に属する微生物としては、Escherichia coli XL1-Blue、Escherichia coli XL2-Blue、Escherichia coli DH1、Escherichia coli DH5 α、Escherichia coli MC1000、Escherichia coli KY3276、Escherichia coli W1485、Escherichia coli JM109、Escherichia coli HB101、Escherichia coli No. 49、Escherichia coli W3110、Escherichia coli NY49、Escherichia coli MP347、Escherichia coli NM522 等のエシェリヒア・コリに属する微生物をあげることができる。

コリネバクテリウム属に属する微生物としては、<u>Corynebacterium glutamicum</u> ATCC13032、<u>Corynebacterium glutamicum</u> ATCC13869 等の <u>Corynebacterium glutamicum</u>、<u>Corynebacterium ammoniagenes 'ATCC6872、Corynebacterium ammoniagenes ATCC21170</u> 等の <u>Corynebacterium ammoniagenes</u>、<u>Corynebacterium acetoacidophilum</u> ATCC13870 等の <u>Corynebacterium acetoacidophilum</u> に属する微生物等をあげることができる。

ブレビバクテリウム属に属する微生物としては、<u>Brevibacterium immariophilum</u>、 <u>Brevibacterium saccharolyticum</u>、<u>Brevibacterium flavum</u>、<u>Brevibacterium lactofermentum</u>に属する微生物等をあげることができる。

アースロバクター属に属する微生物としては、Arthrobacter citreus、Arthrobacter globiformis に属する微生物等をあげることができる。

オーレオバクテリウム属に属する微生物としては、<u>Aureobacterium flavescens</u>、 <u>Aureobacter iumsaperdae</u>、<u>Aureobacterium testaceum</u>に属する微生物等をあげる ことができる。

セルロモナス属に属する微生物としては、<u>Cellulomonas flavigena</u>、 <u>Cellulomonas carta</u>に属する微生物等をあげることができる。

クラビバクター属に属する微生物としては、<u>Clavibacter michiganensis</u>、 <u>Clavibacterrathayi</u>に属する微生物等をあげることができる。

クルトバクテリウム属に属する微生物としては、<u>Curtobacterium albidum</u>、 <u>Curtobacter iumcitreum</u>、<u>Curtobacterium luteum</u>に属する微生物等をあげることができる。

ミクロバクテリウム属に属する微生物としては、<u>Microbacterium ammoniaphilum</u> ATCC15354 等の <u>Microbacterium ammoniaphilum</u>、<u>Microbacterium lacticum</u>、 Microbacterium imperiale に属する微生物等をあげることができる。

ピメロバクター属に属する微生物としては、<u>Pimerobacter simplex</u>に属する微生物等をあげることができる。

エンテロバクター属に属する微生物としては、Enterobacter agglomerans
ATCC1228 等の Enterobacter agglomerans、Enterobacter aerogenes、Enterobacter amnigenus、Enterobacter asburiae、Enterobacter cloacae、Enterobacter dissolvens、Enterobacter gergoviae、Enterobacter hormaechei、Enterobacter intermedius、Enterobacter nimipressuralis、Enterobacter sakazakii、Enterobacter tayloraeに属する微生物等をあげることができる。

クレブシエラ属に属する微生物としては、<u>Klebsiella planticola</u>に属する微生物等をあげることができる。

セラチア属に属する微生物としては、<u>Serratia ficaria</u>、<u>Serratia fonticola</u>、 <u>Serratia liquefaciens</u>、<u>Serratia entomophila</u>、<u>Serratia grimesii</u>、<u>Serratia proteamaculans</u>、<u>Serratia odorifera</u>、<u>Serratia plymuthica</u>、<u>Serratia rubidaea</u>、 Serratia marcescens に属する微生物等をあげることができる。

エルビニア属に属する微生物としては、例えば、Erwinia uredovora、Erwinia carotovora、Erwinia ananas、Erwinia herbicola、Erwinia punctata、Erwinia terreus、Erwinia cacticida、Erwinia chrysanthemi、Erwinia mallotivora、Erwinia persicinus、Erwinia psidii、Erwinia quercina、Erwinia rhapontici、Erwinia rubrifaciens、Erwinia salicis に属する微生物等をあげることができる。

バチルス属に属する微生物としては、<u>Bacillus subtilis</u>、<u>Bacillus megaterium</u>、 <u>Bacillus amyloliquefaciens</u>、<u>Bacillus coagulans</u>、<u>Bacillus licheniformis</u>、 <u>Bacillus pumilus</u>に属する微生物等をあげることができる。

シュードモナス属に属する微生物としては、<u>Pseudomonas putida</u>に属する微生物等をあげることができる。

アグロバクテリウム属に属する微生物としては、例えば、<u>Agrobacterium</u> <u>radiobacter</u>、<u>Agrobacterium rhizogenes</u>、<u>Agrobacterium rubi</u>に属する微生物等をあげることができる。

アナベナ属に属する微生物としては、例えば、<u>Anabaena cylindrica</u>、<u>Anabaena doliolum</u>、<u>Anabaena flosaquae</u>に属する微生物等をあげることができる。

クロマチウム属に属する微生物としては、例えば、<u>Chromatium buderi</u>、 <u>Chromatium tepidum、Chromatium vinosum、Chromatium warmingii</u>、<u>Chromatium fluviatile</u>に属する微生物等をあげることができる。

ロドバクター属に属する微生物としては、例えば、<u>Rhodobacter capsulatus</u>、 Rhodobacter <u>sphaeroides</u>に属する微生物等をあげることができる。

ロドシュードモナス属に属する微生物としては、例えば、<u>Rhodopseudomonas</u> <u>blastica</u>、<u>Rhodopseudomonas</u> <u>marina</u>、<u>Rhodopseudomonas</u> <u>palustris</u> に属する微生物等をあげることができる。

ロドスピリウム属に属する微生物としては、例えば、<u>Rhodospirillum rubrum</u>、 <u>Rhodospirillum salexigens</u>、<u>Rhodospirillum salinarum</u>に属する微生物等をあげることができる。

ストレプトマイセス属に属する微生物としては、例えば、<u>Streptomyces</u> <u>ambofaciens</u>、<u>Streptomyces aureofaciens</u>、<u>Streptomyces aureus</u>、<u>Streptomyces fungicidicus</u>、<u>Streptomyces griseochromogenes</u>、<u>Streptomyces griseus</u>、
<u>Streptomyces lividans</u>、<u>Streptomyces olivogriseus</u>、<u>Streptomyces rameus</u>、
<u>Streptomyces tanashiensis</u>、<u>Streptomyces vinaceus</u>に属する微生物等をあげることができる。

ザイモモナス属に属する微生物としては、例えば、Zymomonas mobilis に属する微生物等をあげることができる。

上記宿主微生物のうち、コリネバクテリウム属、ブレビバクテリウム属、アースロバクター属、オーレオバクテリウム属、セルロモナス属、クラビバクター属、クルトバクテリウム属、ミクロバクテリウム属、ピメロバクター属、エシェリヒア属、またはバチルス属に属する微生物が好ましく用いられ、コリネバクテリウムまたはエシェリヒア属に属する微生物がより好ましく用いられ、コリネバクテリウム属に属する微生物がさらに好ましく用いられる。

宿主微生物への組換え体DNAの導入方法としては、上記宿主微生物へDNAを導入できる方法であればいずれも用いることができ、例えば、カルシウムイオンを用いる方法 [Proc. Natl. Acad. Sci., USA, <u>69</u>, 2110 (1972)]、プロトプラスト法 (特開昭 63-248394)、エレクトロポレーション法 [Nucleic Acids Res., <u>16</u>, 6127 (1988)] 等をあげることができる。

発現ベクターとしては、宿主微生物において自立複製可能ないしは染色体中への 組込が可能で、本発明に用いられるポリペプチドをコードするDNAを転写できる 位置にプロモーターを含有しているものが用いられる。

例えば、pBTrp2、pBTac1、pBTac2(いずれもベーリンガーマンハイム社製)、pHelix1(ロシュ・ダイアグノスティクス社製)、pKK233-2(アマシャム・ファルマシア・バイオテク社製)、pSE280(インビトロジェン社製)、pGEMEX-1(プロメ

ガ社製)、pQE-8(キアゲン社製)、pET-3(ノバジェン社製)、pKYP10(特開昭58-110600)、pKYP200〔Agric. Biol. Chem., 48, 669(1984)〕、pLSA1〔Agric. Biol. Chem., 53, 277(1989)〕、pGEL1〔Proc. Natl. Acad. Sci., USA, 82, 4306(1985)〕、pBluescript II SK(+)、pBluescript II KS(-)(ストラタジーン社製)、pTrS30〔エシェリヒア・コリ JM109/pTrS30(FERM BP-5407)より調製〕、pTrS32〔エシェリヒア・コリ JM109/pTrS32(FERM BP-5408)より調製〕、pPAC31(W098/12343)、pUC19〔Gene, 33, 103(1985)〕、pSTV28(宝酒造社製)、pUC118(宝酒造社製)、pPA1(特開昭 63-233798)、pCG116、pCG1(特開平 6-277082)、pCS299P(W0 00/63388)等があげられる。

プロモーターとしては、宿主微生物中で機能するものであればいかなるものでもよい。例えば、trpプロモーター( $P_{trp}$ )、tacプロモーター( $P_{lac}$ )、trpプロモーター(tacプロモーター等の、エシェリヒア・コリに属する微生物やファージ等に由来するプロモーター、SPO1プロモーター、SPO2プロモーター、penPプロモーター等をあげることができる。またtacプロモーター、tacプロモーター、tacプロモーター、tacプロモーター、tacプロモーター等も用いることができる。

また、宿主微生物がコリネバクテリウム属に属する微生物である場合、P54-6 プロモーター [Appl. Microbiol. Biotechnol.,  $\underline{53}$ , 674-679 (2000)] もあげられる。バチルス属に属する微生物である場合、xylA プロモーター [Appl. Microbiol. Biotechnol., 35, 594-599 (1991)] もあげられる。

組換え体DNAは宿主微生物中で自立複製可能であると同時に、上記プロモーター、リボソーム結合配列、本発明に用いられるポリペプチドをコードするDNA、転写終結配列より構成された組換え体DNAであることが好ましい。プロモーターを制御する遺伝子が含まれていてもよい。

リボソーム結合配列であるシャイン-ダルガノ(Shine-Dalgarno)配列と開始コドンとの間は、適当な距離(例えば6~18塩基)を有していることが好ましい。 転写終結配列は必ずしも必要ではないが、構造遺伝子の直下に転写終結配列を配

置することが好ましい。

このような組換え体DNAとしては、例えばエシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ / pCS-CGndh (FERM BP-08633) の保有するプラスミド pCS-CGndh をあげることができる。

上記方法によって得られる本発明の微生物としては、例えば実施例に示されるコリネバクテリウム・グルタミカム LS-22/pCS-CGndh、コリネバクテリウム・グルタミカム ATCC14752/pCS-CGndh、コリネバクテリウム・グルタミカム FERM BP-1069/pCS-CGndh をあげることができる。

宿主微生物に導入された本発明に用いられるポリペプチドをコードするDNAは、 微生物中で組換え体DNA上に存在していてもよいし、染色体上に組み込まれてい てもよい。

該DNAを染色体上に組み込む方法としては、例えば、Escherichia coli and Salmonella typhimurium、1996 年、2325 頁、2339 頁、アメリカン・ソサエティー・フォー・マイクロバイオロジー等に記載のファージやトランスポゾンを用いる方法をあげることができる。

本発明に用いられるポリペプチドをコードするDNAを導入して得られる微生物 (以下、本発明の微生物と略す)を培地に培養し、培養物中にアミノ酸を生成、蓄 積させ、該培養物からアミノ酸を採取することにより、アミノ酸を製造することが できる。

アミノ酸に特に限定はなく、Lーグルタミン酸、Lーグルタミン等の2ーオキソグルタル酸から生合成されるアミノ酸、Lーアスパラギン酸、Lーアスパラギン等のオキサロ酢酸から生合成されるアミノ酸、Lーリジン、Lーメチオニン、Lートレオニン等のアスパラギン酸から生合成されるアミノ酸、Lーアルギニン、Lープロリン、Lーシトルリン等のLーグルタミン酸から生合成されるアミノ酸、Lーバリン、Lーロイシン、Lーイソロイシン等のピルビン酸から生合成されるアミノ酸、Lーセリン、Lーシステイン、グリシン等の3ーホスホグリセリン酸から生合成されるアミノ酸、Lートリプトファン、Lーチロシン、Lーフェニルアラニン等のコリスミ酸から生合成されるアミノ酸、Lーヒスチジン等があげられる。

培養に用いる培地としては、本発明の微生物が資化することのできる炭素源、窒素源、無機塩類等を含有し、該微生物が生育でき、かつ目的とするアミノ酸の生産が効率的に行なえる培地であれば天然培地、合成培地のいずれを用いてもよい。

炭素源としては、本発明の微生物が資化し得るものであればよく、グルコース、フラクトース、スクロース、これらを含有する糖蜜、デンプンあるいはデンプン加水分解物等の炭水化物、酢酸、プロピオン酸等の有機酸、メタノール、エタノール、プロパノール等のアルコール類等を用いることができる。

窒素源としては、アンモニア、塩化アンモニウム、硫酸アンモニウム、酢酸アンモニウム、リン酸アンモニウム等の無機酸もしくは有機酸のアンモニウム塩、その他の含窒素化合物、ならびにペプトン、肉エキス、酵母エキス、コーンスティープリカー、カゼイン加水分解物、大豆粕加水分解物、各種醗酵菌体、およびその消化物等を用いることができる。

無機塩としては、リン酸二水素カリウム、リン酸水素二カリウム、リン酸マグネシウム、硫酸マグネシウム、塩化ナトリウム、硫酸第一鉄、硫酸マンガン、硫酸銅、 炭酸カルシウム等を用いることができる。

培養は、通常、振とう培養または深部通気攪拌培養等の好気的条件下で行なう。培養温度は 15  $\mathbb{C} \sim 50$   $\mathbb{C}$  がよく、より好ましくは 20  $\mathbb{C} \sim 45$   $\mathbb{C}$  である。培養時間は通常 5 時間  $\sim 7$  日間、より好ましくは 12 時間  $\sim 4$  日間である。培養中必要に応じて pH を 3  $\sim 9$  に保持する。pH の調整は、無機または有機の酸、アルカリ溶液、尿素、炭酸カルシウム、アンモニア等を用いて行なう。

また培養中必要に応じて、ペニシリンやアンピシリン、テトラサイクリン等の抗生物質を培地に添加してもよい。

プロモーターとして誘導性のプロモーターを用いた組換え体DNAを用いてDNAを導入した微生物を培養するときには、必要に応じてインデューサーを培地に添加してもよい。例えば、 $\underline{lac}$ プロモーターを用いた組換え体DNAを用いてDNAを導入した微生物を培養するときにはイソプロピルー $\beta$ -Dーチオガラクトピラノシド等を、 $\underline{trp}$ プロモーターを用いた組換え体DNAを用いてDNAを導入した微生物を培養するときにはインドールアクリル酸等を培地に添加してもよい。

培養終了後の培養液から、活性炭を用いる方法、イオン交換樹脂を用いる方法、 結晶化法、沈殿法等の、通常アミノ酸の単離に用いられる方法を単独でまたは組み 合わせて、アミノ酸を採取することができる。

以下に実施例を示すが、本発明は下記実施例に限定されるものではない。

#### 実施例1

(1) コリネバクテリウム・グルタミカム LS-22 株を LB 培地〔10g/L バクトトリプトン(ディフコ社製)、5g/L イーストエキストラクト(ディフコ社製)および 5g/L 塩化ナトリウムを含む培地〕に植菌し、30 $\mathbb C$ で一晩培養した。培養後、Eikmanns らの方法〔Microbiol., 140, 1817(1994)〕に準じて、該微生物の染色体DNAを単離精製した。

配列番号 3 で表されるコリネバクテリウム・グルタミカム ATCC13032 の ndh の塩基配列に基いて配列番号 1 および 2 で表される塩基配列を有する DNA を合成した。 該 DNA (各  $0.5\,\mu\,\mathrm{mol/L}$ )をプライマーとし、上記染色体 DNA ( $0.1\,\mu\,\mathrm{g}$ )を鋳型として、PfuDNA ポリメラーゼ(ストラタジーン社製)  $2.5\,\mu\,\mathrm{dota}$  とび各  $200\,\mu\,\mathrm{mol/L}$  Lの dNTP(dATP、dCTP および dTTP)を含む反応液  $40\,\mu\,\mathrm{L}$  中で PCR を行なっ

反応終了後、得られた反応液のうち  $4\mu$ L をアガロースゲル電気泳動に供し、公知のコリネバクテリウム・グルタミカムの ndh に相当する 1.9kb の断片が増幅していることを確認した後、残りの反応液と等量の TE〔10mmol/L トリス-塩酸(pH8.0)、1mmol/L エチレンジアミン四酢酸を含有する溶液〕飽和フェノール/クロロフォルム(1vol/1vol)溶液を混合した。該溶液を遠心分離して得られた上層に、2 倍量

の冷エタノールを加えて混合し、-80℃で 30 分間放置した。該溶液を遠心分離して DNAを得、該DNAを  $20\,\mu$ Lの TE に溶解した。

該DNA溶解液 5 μL と pGEM<sup>R</sup>-T Easy vector (プロメガ社製) 0.06 μg を pGEM<sup>R</sup>-T Easy vector system のライゲーションキット (プロメガ社製) を用いて 16℃で 16 時間反応させ、ndh を含むDNA断片と pGEM<sup>R</sup>-T Easy vector を連結した。

連結反応後の反応液を用いてエシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ 株を、エレクトロポレーション法 [Nucleic acid Res., 16, 6127-6145 (1988)] によって形質転換した。

得られた形質転換体を、100μg/mLのアンピシリンを含む LB 寒天培地に塗布し、30℃で一晩培養した。該寒天培地上に生育したコロニーより常法により従ってプラスミドを抽出し、制限酵素を用いてその構造を解析することにより、pGEM<sup>®</sup>-T Easy vector にコリネバクテリウム・グルタミカムの ndh を含むDNA断片が挿入されたプラスミドであることを確認した。このプラスミドを pT-CGndh と命名した。

プラスミド pT-CGndh  $1\mu g$  を制限酵素 KpnI および SalI で切断し、得られたDN A断片を含む溶液をアガロースゲル電気泳動に供し、約 2kb のDNA断片を分離した。

コリネ型細菌用の発現ベクターである pCS299P (W0 00/63388)  $0.2 \mu g$  を制限酵素 KpnI および SalI で切断後、得られたDNA断片を含む溶液をアガロースゲル電気 泳動に供し、約 5.4 kb のDNA断片を分離した。

上記で得られた ndh を含む約 2kb のDNA断片と pCS299P の切断断片(約5.4kb)をライゲーションキット(宝酒造社製)を用いて、16℃で 16 時間反応させて連結した。

連結反応後の反応液を用いてコリネバクテリウム・グルタミカム LS-22 株を、エレクトロポレーション法 [Nucleic acid Res.,  $\underline{16}$ , 6127-6145 (1988)] を用いて形質転換した。

得られた形質転換体を 25 μg/LL のカナマイシンを含む LB 寒天培地に塗布し、30℃で一日間培養した。該寒天培地上に生育したコロニーより、常法によりプラスミドを抽出し、制限酵素を用いてその構造を解析して、該プラスミドが、pCS299Pにndh を含むDNA断片が挿入されたプラスミドであることを確認した。このプラスミドを pCS-CGndh と命名した。

プラスミド pCS-CGndh を含有するエシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$  /pCS-CGndh は、FERM BP-08633 として、平成16年2月19日付けで、独立行政法人産業技術総合研究所 特許生物寄託センター、日本国茨城県つくば市東1丁目1番地1中央第6(郵便番号305-8566)に寄託されている。

(2) コリネバクテリウム・グルタミカム LS-22 株およびコリネバクテリウム・グルタミカム LS-22 株に pCS-CGndh を導入したコリネバクテリウム・グルタミカム

LS-22/pCS-CGndh 株をそれぞれ、試験管中の LB 培地 5mL に植菌し、30℃で一晩振とう培養した。

培養液 1mL を 100mL の MG 培地〔10g/L グルコース、3g/L リン酸二水素カリウム、3g/L リン酸水素二カリウム、2g/L 塩化アンモニウム、2g/L 尿素、0.5g/L 硫酸マグネシウム・7水和物、10mg/L 硫酸鉄・1 0水和物、1mg/L 硫酸マンガン・7水和物、30mg/L ビオチン、1mg/L チアミン塩酸塩、20mg/L システイン塩酸塩、0.5g/L カザミノ酸、および1mL/L メタルミックス(990mg/L 硫酸鉄・7水和物、880mg/L 硫酸亜鉛・7水和物、393mg/L 硫酸銅・5水和物、72mg/L 塩化マンガン・4水和物、88mg/L 四ホウ酸ナトリウム・1 0水和物および37mg/L パラモリブデン酸アンモニウム・4水和物を含有する溶液)を含有する培地〕の入った500mL容三角フラスコに添加し、30℃で80時間、220rpmで振とう培養した。培養後、培養上清のグルタミン酸濃度をHPLCにて定量した。

HPLC 分析は、培養上清を 40℃でカラム AQ-312 (YMC 社製) に供し (移動相: 2.94 g/L クエン酸ナトリウム、1.42g/L 硫酸ナトリウム、17mL/L n-プロパノールおよび 3g/L ラウリル硫酸ナトリウムを含有する pH 2.4 の溶液)、反応液(18.5g/L ホウ酸、11g/L NaOH、0.6g/L オルトフタルアルデヒド、2ml/L メルカプトエタノールおよび 3mL/L Brige-35 を含有する溶液) と混合し、励起波長 345nm、吸収波長 455nm の蛍光分析に供して行った。

その結果、コリネバクテリウム・グルタミカム LS-22 株が培養液中に 1.5g/L のグルタミン酸を蓄積していたのに対し、コリネバクテリウム・グルタミカム LS-22/pCS-CGndh 株は 2.3g/L のグルタミン酸を蓄積していた。

#### 実施例2

実施例1と同様に、エレクトロポレーション法を用いてコリネバクテリウム・グルタミカム ATCC14752 株に pCS-CGndh を導入し、コリネバクテリウム・グルタミカム ATCC14752/pCS-CGndh 株を得た。

コリネバクテリウム・グルタミカム ATCC14752 株およびコリネバクテリウム・グルタミカム ATCC14752/pCS-CGndh 株を、それぞれ GS 培地〔70g/L グルコース、10g/L コーンスティープリカー、10g/L 肉エキス、10g/L 酵母エキス、5g/L 硫酸アンモニウム、0.5g/L リン酸二水素カリウム、1.5g/L リン酸水素二カリウム、0.5g/L 硫酸マグネシウム・7水和物、10mg/L 硫酸鉄・1 0水和物、10mg/L 硫酸マンガン・7水和物、0.8mg/L 硫酸銅・5水和物、8.3g/L 尿素、5 $\mu$ g/L ビオチン、および 1mg/L チアミン塩酸塩を含有し、pH 7.2 の培地〕5mL の入った試験管に植菌し、30℃で 24 時間振とう培養した。

この培養液 2.5mL を 25mL の GP 培地〔116g/L グルコース、4g/L フラクトース、50g/L 塩化アンモニウム、10mg/L ニコチン酸、0.7g/L リン酸二水素カリウム、0.7g/L リン酸水素二カリウム、0.5g/L 硫酸マグネシウム・7水和物、20mg/L 硫

酸鉄・10水和物、20mg/L 硫酸マンガン・7水和物、0.8mg/L 硫酸銅・5水和物、5g/L 尿素、0.5μg/L ビオチン、1mg/L チアミン塩酸塩および50g/L 炭酸カルシウムを含有し、pH 7.2 の培地〕の入った三角フラスコに添加し、30℃で72 時間、220rpm で振とう培養した。

培養後、培養上清中のグルタミンの蓄積量を実施例1に記載したHPLC条件で定量した。

その結果、コリネバクテリウム・グルタミカム ATCC14752 株のグルタミンの蓄積量は 32.2g/L であるのに対し、コリネバクテリウム・グルタミカム ATCC14752/pCS-CGndh 株のグルタミンの蓄積量は 33.3g/L であった。 実施例 3

実施例1と同様に、エレクトロポレーション法を用いてコリネバクテリウム・グルタミカム FERM BP-1069 株に pCS-CGndh を導入し、コリネバクテリウム・グルタミカム FERM BP-1069/pCS-CGndh 株を得た。

コリネバクテリウム・グルタミカム FERM BP-1069 株およびコリネバクテリウム・グルタミカム FERM BP-1069/pCS-CGndh 株を、それぞれ、LS 培地〔50g/L シュクロース、30g/L コーンスティープリカー、20g/L 肉エキス、20g/L カザミノ酸、8g/L 硫酸アンモニウム、2g/L リン酸二水素カリウム、0.5g/L 硫酸マグネシウム・7水和物、3g/L 尿素、20g/L ペプトン、10mg/L 硫酸鉄・10水和物、10mg/L 硫酸亜鉛・7水和物、20mg/L ニコチン酸、10mg/L パントテン酸カルシウム、0.1mg/L ビオチン、1mg/L チアミン塩酸塩および 10g/L 炭酸カルシウムを含有し、pH 7.2 の培地〕5mL の入った試験管に植菌し、30℃で 24 時間振とう培養した。

この培養液 0.5mL を LP 培地〔100g/L 糖蜜 (糖分として)、45g/L 硫酸アンモニウム、3g/L 尿素、0.5g/L リン酸二水素カリウム、0.5g/L 硫酸マグネシウム・7水和物、0.3mg/L ビオチンおよび 30g/L 炭酸カルシウムを含有し、pH7.0 の培地〕5mL の入った試験管に添加し、30℃で 72 時間、220rpm で振とう培養した。培養終了後、培養上清のリジン濃度を HPLC にて定量した。

HPLC 分析は、培養上清を、40℃でカラム 0DS-80TS (TOSOH 社製) に供し (移動相:2.94g/L クエン酸ナトリウム、1.42g/L 硫酸ナトリウム、300mL/L アセトニトリル、および 3g/L ラウリル硫酸ナトリウムを含有する pH 6.0 の溶液)、反応液(18.5g/L ホウ酸、11g/L 水酸化ナトリウム、0.6g/L オルトフタルアルデヒド、2ml/L メルカプトエタノールおよび 3mL/L Brige-35 を含有する溶液) と混合し、励起波長 345nm、吸収波長 455nm の蛍光分析に供して行った。

その結果、コリネバクテリウム・グルタミカム FERM BP-1069 株のリジンの蓄積量は 24.8g/L であったのに対し、コリネバクテリウム・グルタミカム FERM BP-1069/pCS-CGndh 株のリジンの蓄積量は 28.6g/L であった。

# 産業上の利用可能性

本発明により、工業的に有利なアミノ酸の製造法を提供することができる。

配列表フリーテキスト

配列番号1-人工配列の説明:合成DNA 配列番号2-人工配列の説明:合成DNA

## 請求の範囲

- 1. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNAを導入して得られる微生物を培地に培養し、培養物中にアミノ酸を生成、蓄積させ、該培養物よりアミノ酸を採取することを特徴とするアミノ酸の製造法。
- 2. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、コリネバクテリウム (Corynebacterium) 属、エシェリヒア (Escherichia) 属、シュードモナス属 (Pseudomonas) 属、アゾトバクター (Azotobacter) 属、サルモネラ (Salmonella) 属およびラクトバチルス (Lactobacillus) 属に属する微生物からなる群より選ばれる微生物由来のDNA、または該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAであることを特徴とする、請求の範囲第1項記載の製造法。
- 3. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、コリネバクテリウム・グルタミカム(Corynebacterium glutamicum)、コリネバクテリウム・ジフテリア(Corynebacterium diphtheriae)、エシェリヒア・コリ (Escherichia coli)、シュードモナス・フルオレッセンス(Pseudomonas fluorescens)、アゾトバクター・ビネランディー(Azotobacter vinelandii)、

fluorescens)、アゾトバクター・ビネランディー(Azotobacter vinelandii)、サルモネラ・ティフィムリウム(Salmonella typhimurium)およびラクトバチルス・プランタラム(Lactobacillus plantarum)に属する微生物からなる群より選ばれる微生物由来のDNA、または該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAであることを特徴とする、請求の範囲第1項記載の製造法。

- 4. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNAが、配列番号3、5、7、9、11、13 および15で表される塩基配列からなる群より選ばれる塩基配列を有する DNA、または該塩基配列と相補的な塩基配列を有する DNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズする DNAである、請求の範囲第1項記載の製造法。
- 5. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh (FERM BP-08633) の保有するプラスミド pCS-CGndh の有するエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAまたは該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドをコードするDNAである、請求の範囲第1項記載の製造法。
- 6. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼが、配列番号 4 、 6 、 8 、 1 0 、 1 2 、 1 4 および 1 6 で表されるアミノ酸配列からなる群より選ばれるアミノ酸配

列を有するポリペプチド、または該ポリペプチドの有するアミノ酸配列において、 1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドであることを特徴とする、請求の範囲第1項記載の製造法。

- 7. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼが、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$  /pCS-CGndh (FERM BP-08633) の保有するプラスミド pCS-CGndh の有するエネルギー 非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNAにコードされるポリペプチド、または該ポリペプチドの有するアミノ酸配列において、1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドであることを特徴とする、請求の範囲第1項記載の製造法。
- 8. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNA を導入する 微生物が、エシェリヒア (Escherichia) 属、コリネバクテリウム属

(Corynebacterium)、ブレビバクテリウム (Brevibacterium) 属、アースロバクター (Arthrobacter) 属、オーレオバクテリウム (Aureobacterium) 属、セルロモナス (Cellulomonas) 属、クラビバクター (Clavibacter) 属、クルトバクテリウム (Curtobacterium) 属、ミクロバクテリウム (Microbacterium) 属、ピメロバクター (Pimerobacter) 属およびバチルス (Bacillus) 属に属する微生物からなる群より選ばれる微生物である、請求の範囲第1~7項いずれか1項に記載の製造法。

- 9. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNA を導入する 微生物が、エシェリヒア属に属する微生物である、請求の範囲第 1~7 項いずれか 1 項に記載の製造法。
- 10. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入する微生物が、エシェリヒア・コリに属する微生物である、請求の範囲第1~7項いずれか1項に記載の製造法。
- 11. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードする DNA を導入する微生物が、コリネバクテリウム属に属する微生物である、請求の範囲第 1 ~ 7 項いずれか 1 項に記載の製造法。
- 12. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入する微生物が、コリネバクテリウム・グルタミカム(Corynebacterium glutamicum)、コリネバクテリウム・フラバム(Corynebacterium flavum)、コリネバクテリウム・ラクトファーメンタム(Corynebacterium lactofermentum)およびコリネバクテリウム・エフィカシス(Corynebacterium efficasis)に属する微生物からなる群より選ばれる微生物である、請求の範囲第  $1 \sim 7$  項いずれか 1 項に記載の製造法。

13. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入する微生物が、コリネバクテリウム・グルタミカムに属する微生物である、請求の範囲第1~7項いずれか1項に記載の製造法。

- 14. アミノ酸が、Lーグルタミン酸、Lーグルタミン、Lーアスパラギン酸、 Lーアスパラギン、Lーリジン、Lーメチオニン、Lートレオニン、Lーアルギニ ン、Lープロリン、Lーシトルリン、Lーバリン、Lーロイシン、Lーイソロイシ ン、Lーセリン、Lーシステイン、グリシン、Lートリプトファン、Lーチロシン、 LーフェニルアラニンおよびLーヒスチジンからなる群より選ばれるアミノ酸であ る、請求の範囲第1~13項いずれか1項に記載の製造法。
- 15. アミノ酸が、 $L-グルタミン酸、<math>L-グルタミンおよびL-リジンからなる群より選ばれるアミノ酸である、請求の範囲第<math>1\sim13$  項いずれか1 項に記載の製造法。
- 16. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入して得られるコリネバクテリウム属に属する微生物。
- 17. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAを導入して得られるコリネバクテリウム・グルタミカムに属する微生物。
- 18. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、コリネバクテリウム属、エシェリヒア属、シュードモナス属、アゾトバクター属、サルモネラ属およびラクトバチルス属に属する微生物からなる群より選ばれる微生物由来のDNA、または該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAである、請求の範囲16または17記載の微生物。
- 19. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、コリネバクテリウム・グルタミカム、コリネバクテリウム・ジフテリア、エシェリヒア・コリ、シュードモナス・フルオレッセンス、アゾトバクター・ビネランディー、サルモネラ・ティフィムリウムおよびラクトバチルス・プランタラムに属する微生物からなる群より選ばれる微生物由来のDNA、または該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAである、請求の範囲第16または17項記載の微生物。
- 20. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、配列番号3、5、7、9、11、13および15で表される塩基配列からなる群より選ばれる塩基配列を有するDNA、または該塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするDNAである、請求の範囲第16または17項記載の微生物。
- 2 1. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAが、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh (FERM BP-08633) の保有するプラスミド pCS-

CGndh の有するエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAまたは該DNAの塩基配列と相補的な塩基配列を有するDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドをコードするDNAである、請求の範囲第16または17項記載の微生物。

- 22. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼが、配列番号 4、6、8、10、12、14 および 16 で表されるアミノ酸配列からなる群より選ばれるアミノ酸配列を有するポリペプチド、または該ポリペプチドの有するアミノ酸配列において、1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドである、請求の範囲第 16 または 17 項記載の微生物。
- 23. エネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼが、エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha/p$ CS-CGndh (FERM BP-08633) の保有するプラスミド pCS-CGndh の有するエネルギー非産生型 NADH デヒドロゲナーゼをコードするDNAによりコードされるポリペプチド、または該ポリペプチドの有するアミノ酸配列において、1以上のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつエネルギー非産生型NADH デヒドロゲナーゼ活性を有するポリペプチドであることを特徴とする請求の範囲第16または17項記載の微生物。
- 24. コリネバクテリウム・グルタミカム ATCC14752/pCS-CGndh、またはコリネバクテリウム・グルタミカム FERM BP-1069/pCS-CGndh。
- 25. エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh (FERM BP-08633)。
- 26. エシェリヒア・コリ DH5  $\alpha$ /pCS-CGndh(FERM BP-08633)の保有するプラスミド pCS-CGndh。

## SEQUENCE LISTING

<110> KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD

<120> Method for producing amino acid

<130> 1657

<160> 16

 $\langle 170 \rangle$  PatentIn Ver. 3.1

<210> 1

<211> 30

<212> DNA

<213> Artificial

<220>

<223> Synthetic DNA

⟨400⟩ 1

ctgcttgccc tgcaggtgca ccagcaaacg

30

<210> 2

<211> 30

<212> DNA

<213> Artificial

<220>

<223> Synthetic DNA

<400> 2

cgagctgcgc gacaaccagg aattcagcgg

30

<210> 3

<211> 1404

<212> DNA

<213> Corynebacterium glutamicum ATCC13032

<220>

<221> CDS

<222>

<400> 3 ⋅

atg tca gtt aac cca acc cgc ccc gaa ggc ggc cgt cac cac gtc gtc 48 Met Ser Val Asn Pro Thr Arg Pro Glu Gly Gly Arg His His Val Val 1 5 10 15

aag gca gac gtc gat gtc act ctg att gac cgc acc aac cac cac ctc 144
Lys Ala Asp Val Asp Val Thr Leu Ile Asp Arg Thr Asn His His Leu
35 40 45

ttc cag cca ctg ctg tac caa gtg gca acc ggt atc ctc tcc tcc ggt 192
Phe Gln Pro Leu Leu Tyr Gln Val Ala Thr Gly Ile Leu Ser Ser Gly
50 55 60

gaa atc gca cct tcc act cga cag atc ctg ggc tcc cag gaa aac gtc 240 Glu Ile Ala Pro Ser Thr Arg Gln Ile Leu Gly Ser Gln Glu Asn Val 65 70 75 80

aac gtc atc aag ggc gaa gtc acc gac atc aac gtc gag tcc cag act 288 Asn Val Ile Lys Gly Glu Val Thr Asp Ile Asn Val Glu Ser Gln Thr 85 90 95

gtg acc gcc tcc ctg ggc gag ttc acc cgc gtt ttt gag tac gat tcc 336 Val Thr Ala Ser Leu Gly Glu Phe Thr Arg Val Phe Glu Tyr Asp Ser 100 105 110

ttg gtc gtt ggt gct ggc gca ggt cag tcc tac ttc ggc aat gat cac 384

Leu	Val	Val 115	Gly	Ala	Gly	Ala	Gly 120	Gln	Ser	Tyr	Phe	Gly 125	Asn	Asp	His	
					cct Pro										gag Glu	432
	-				atc Ile 150									_		480
					gaa Glu											528
					gag Glu											576
					gag Glu										aag Lys	624
					ggt Gly											672
					gca Ala 230								1			720
					atg Met										Thr	768
tac	ននច	acc	ลลฮ	gac	ggr	gaa	ឲ្យឧ	cac	acc	atc	ឲ្នឧ	tet	ttc	tgc	ลลg	816

Tyr Lys Thr Lys Asp Gly Glu Glu His Thr Ile Glu Ser Phe Cys Lys att tgg tcc gct ggt gtt gcg gca tcc cca ctg ggc aag ctc gtc gca Ile Trp Ser Ala Gly Val Ala Ala Ser Pro Leu Gly Lys Leu Val Ala gag cag acc ggt gtt gag acc gac cgc gca ggc cgc gtc atg gtt aac Glu Gln Thr Gly Val Glu Thr Asp Arg Ala Gly Arg Val Met Val Asn gat gac ctg tct gtt ggc gat cag aag aac gtc ttc gtt gtt ggc gac Asp Asp Leu Ser Val Gly Asp Gln Lys Asn Val Phe Val Val Gly Asp atg atg aac tac aac aac ctc cct ggt gtt gct cag gta gca atc cag Met Met Asn Tyr Asn Asn Leu Pro Gly Val Ala Gln Val Ala Ile Gln agt ggt gag tac gtt gct gag cag atc gaa gct gag gtt gaa ggc cgc Ser Gly Glu Tyr Val Ala Glu Gln Ile Glu Ala Glu Val Glu Gly Arg tcc aac acc gag cgc gaa gct ttc gat tac ttc gac aag ggc tcc atg Ser Asn Thr Glu Arg Glu Ala Phe Asp Tyr Phe Asp Lys Gly Ser Met get acc att tee ege tte tee gea gtg gtg aag atg gge aag gtt gag Ala Thr Ile Ser Arg Phe Ser Ala Val Val Lys Met Gly Lys Val Glu gtc acc ggc ttc atc ggt tgg gtt ctg tgg ttg gct gtt cac atc atg Val Thr Gly Phe Ile Gly Trp Val Leu Trp Leu Ala Val His Ile Met ttc ctg gtt ggc ttc cgc aac cgt ttc gtc tcc gca atc agc tgg ggc

Phe Leu Val Gly Phe Arg Asn Arg Phe Val Ser Ala Ile Ser Trp Gly 405 410 415 ctg aac gca ctg tcc cgc aag cgt tgg aac ctg gca acc acc cgc cag 1296 Leu Asn Ala Leu Ser Arg Lys Arg Trp Asn Leu Ala Thr Thr Arg Gln 420 425 430 cag ctc cac tca cgc acc acg ctg tcc aag ttc gct cac gag ctt gag 1344 Gln Leu His Ser Arg Thr Thr Leu Ser Lys Phe Ala His Glu Leu Glu 445 435 440 gaa gca tct tct gat ctt cca atc gag ctg cgc gac aac cag cgt ttc 1392 Glu Ala Ser Ser Asp Leu Pro Ile Glu Leu Arg Asp Asn Gln Arg Phe 450 455 460 1404 agc gga aag taa Ser Gly Lys 465 <210> 4 <211> 467 <212> PRT <213> Corynebacterium glutamicum ATCC13032 <400> 4 Met Ser Val Asn Pro Thr Arg Pro Glu Gly Gly Arg His His Val Val 5 10 1 15 Val Ile Gly Ser Gly Phe Gly Gly Leu Phe Ala Ala Lys Asn Leu Ala 20 25 30 Lys Ala Asp Val Asp Val Thr Leu Ile Asp Arg Thr Asn His His Leu 35 40 45 Phe Gln Pro Leu Leu Tyr Gln Val Ala Thr Gly Ile Leu Ser Ser Gly 50 55 60

Glu 65	Ile	Ala	Pro	Ser	Thr 70	Arg	Gln	Ile	Leu	Gly 75	Ser	Gln	Glu	Asn	Val 80
Asn	Val	Ile	Lys	Gly 85	Glu	Val	Thr	Asp	Ile 90	Asn	Val	Glu	Ser	Gln 95	Thr
Val	Thr	Ala	Ser 100	Leu	Gly	Glu	Phe	Thr 105	Arg	Val	Phe	Glu	Tyr 110	Asp	Ser
Leu	Val	Val 115	Gly	Ala	Gly	Ala	Gly 120	Gln	Ser	Tyr	Phe	Gly 125	Asn	Asp	His
Phe	Ala 130	Glu	Phe	Ala	Pro	Gly 135	Met	Lys	Ser	Ile	Asp 140	Asp	Ala	Leu	Glu
Ile 145	Arg	Ala	Arg	Ile	Ile 150	Gly	Ala	Phe	Glu	Arg 155	Ala	Glu	Ile	Cys	Glu 160
Asp	Pro	Ala	Glu	Arg 165	Glu	Arg	Leu	Leu	Thr 170	Phe	Val	Val	Val	Gly 175	Ala
Gly	Pro	Thr	Gly 180	Val	Glu	Leu	Ala	Gly 185	Gln	Leu	Ala	Glu	Met 190	Ala	His
Arg	Thr	Leu 195	Ala	Gly	Glu	Tyr	Lys 200	Asn	Phe	Asn	Thr	Asn 205	Ser	Ala	Lys
Ile	Ile 210	Leu	Leu	Asp	Gly	Ala 215	Pro	Gln	Val	Leu	Pro 220	Pro	Phe	Gly	Lys
Arg 225	Leu	Gly	Arg	Asn	Ala 230	Gln	Arg	Thr	Leu	Glu 235	Lys	Met	Gly	Val	Asn 240
Val	Arg	Leu	Asn	Ala	Met	Val	Thr	Asn	Val	Asp	Ala	Thr	Ser	Val	Thr

245 250 255

Tyr Lys Thr Lys Asp Gly Glu Glu His Thr Ile Glu Ser Phe Cys Lys 260 265 270

- Ile Trp Ser Ala Gly Val Ala Ala Ser Pro Leu Gly Lys Leu Val Ala 275 280 285
- Glu Gln Thr Gly Val Glu Thr Asp Arg Ala Gly Arg Val Met Val Asn 290 295 300
- Asp Asp Leu Ser Val Gly Asp Gln Lys Asn Val Phe Val Val Gly Asp 305 310 315 320
- Met Met Asn Tyr Asn Asn Leu Pro Gly Val Ala Gln Val Ala Ile Gln 325 330 335
- Ser Gly Glu Tyr Val Ala Glu Gln Ile Glu Ala Glu Val Glu Gly Arg 340 345 350
- Ser Asn Thr Glu Arg Glu Ala Phe Asp Tyr Phe Asp Lys Gly Ser Met 355 360 365
- Ala Thr Ile Ser Arg Phe Ser Ala Val Val Lys Met Gly Lys Val Glu 370 375 380
- Val Thr Gly Phe Ile Gly Trp Val Leu Trp Leu Ala Val His Ile Met 385 390 395 400
- Phe Leu Val Gly Phe Arg Asn Arg Phe Val Ser Ala Ile Ser Trp Gly
  405 410 415
- Leu Asn Ala Leu Ser Arg Lys Arg Trp Asn Leu Ala Thr Thr Arg Gln
  420 425 430
- Gln Leu His Ser Arg Thr Thr Leu Ser Lys Phe Ala His Glu Leu Glu

435 440 445

Glu Ala Ser Ser Asp Leu Pro Ile Glu Leu Arg Asp Asn Gln Arg Phe
450
455
460

Ser Gly Lys

465

<210> 5

<211> 1362

<212> DNA

<213> Corynebacterium diphtheriae

<220>

<221> CDS

<222>

<400> 5

atg act aac acc cca ttt cgc cca gaa ggt gga cgc cac cac gtt gta 48 Met Thr Asn Thr Pro Phe Arg Pro Glu Gly Gly Arg His His Val Val 1 5 10 15

gtt att ggc tcc ggc ttc ggt gga cta ttc gca gtt caa aac ctc aaa 96 Val Ile Gly Ser Gly Phe Gly Gly Leu Phe Ala Val Gln Asn Leu Lys 20 25 30

gat gca gat gtc gat atc acc ctc atc gac cgg aca aac cac cac ctt 144 Asp Ala Asp Val Asp Ile Thr Leu Ile Asp Arg Thr Asn His His Leu 35 40 45

ttc cag ccg ttg ctt tac caa gta gca acc ggt atc ttg tcg tct ggt 192

Phe Gln Pro Leu Leu Tyr Gln Val Ala Thr Gly Ile Leu Ser Ser Gly

50 55 60

gaa atc gca cca caa acg cgt caa gtt ctt gca cag caa aat aat gtg 240

Glu 65	Ile	Ala	Pro	Gln	Thr 70	Arg	Gln	Val	Leu	Ala 75	Gln	Gln	Asn	Asn	Val 80	
				gct Ala 85							~					288
				ttg Leu												336
				gct Ala							. 1					384
				gcg Ala										4		432
,,				atc Ile											gaa Glu 160	480
				cgt Arg 165												528
				gta Val												576
_	_	_		gga Gly			_									624

										ggc	672
										gta Val	720
										gtg Val 255	768
									Asp	ttc Phe	816
										cta Leu	864
										cca Pro	912
Glu				Gly				Val		att Ile	960
			Asn				Val			gca Ala 335	1008
		Tyr				Ile				gag Glu	 1056

										tac Tyr					1104
							•			aag Lys 380					1152
										ctt Leu					1200
										gcg Ala					1248
										ctc Leu					1296
										ctt Leu					1344
		gcc Ala										٠		136	52
<21 <21	0> 6 1> 4 2> P 3> C		ebac	teri	um d	ipht	heri	ae							
	0> 6 Thr	Asn	Thr	Pro 5	Phe	Arg	Pro	Glu	Gly 10	Arg	His	His	Val 15		

Val Ile Gly Ser Gly Phe Gly Gly Leu Phe Ala Val Gln Asn Leu Lys 20 25 30

- Asp Ala Asp Val Asp Ile Thr Leu Ile Asp Arg Thr Asn His His Leu 35 40 45
- Phe Gln Pro Leu Leu Tyr Gln Val Ala Thr Gly Ile Leu Ser Ser Gly 50 55 60
- Glu Ile Ala Pro Gln Thr Arg Gln Val Leu Ala Gln Gln Asn Asn Val 65 70 75 80
- His Val Leu Lys Ala Glu Val Thr Asp Ile Asp Thr Glu Ser Lys Thr 85 90 95
- Val Val Ala Asp Leu Asp Asp Tyr Ser Lys Thr Ile Glu Tyr Asp Ser 100 105 110
- Leu Ile Val Ala Ala Gly Ala Gly Gln Ser Tyr Phe Gly Asn Asp His
  115 120 125
- Phe Ala Glu Phe Ala Pro Gly Met Lys Thr Ile Asp Asp Ala Leu Glu 130 135 140
- Leu Arg Ala Arg Ile Ile Gly Ala Phe Glu Arg Ala Glu Met Cys Glu 145 150 155 160
- Asp Pro Lys Glu Arg Glu Arg Leu Leu Thr Phe Val Ile Val Gly Ala 165 170 175
- Gly Pro Thr Gly Val Glu Leu Ala Gly Gln Leu Ala Glu Met Ala His 180 185 190
- Arg Thr Leu Ser Gly Glu Tyr Thr Gln Phe Thr Pro Ser Asn Ala Lys
  195 200 205

Ile Ile Leu Leu Asp Gly Ala Pro Gln Val Leu Pro Pro Phe Gly Lys Arg Leu Gly Arg Thr Ala Gln Arg Glu Leu Glu Lys Ile Gly Val Thr Val Lys Leu Asn Ala Ile Val Thr Gly Val Asp Glu Asn Ser Val Thr Tyr Lys Ser Thr Val Asp Asp Ser Leu His Thr Ile Asp Ser Phe Cys Lys Ile Trp Ser Ala Gly Val Ala Ala Ser Pro Leu Gly Lys Leu Val Ala Glu Gln Leu Gly Val Glu Val Asp Arg Ala Gly Arg Val Pro Val Asn Glu Asp Leu Ser Val Gly Asp Asp Lys Asn Val Phe Val Ile Gly Asp Met Met Ser Leu Asn Arg Leu Pro Gly Val Ala Gln Val Ala Ile Gln Gly Gly Glu Tyr Val Ala Glu Gln Ile Ala Ala Gly Val Glu Gly Arg Ser Ser Ser Glu Arg Pro Ala Phe Glu Tyr Tyr Asp Lys Gly Ser Met Ala Thr Val Ser Arg Phe Asn Ala Val Val Lys Leu Gly Lys Val Glu Val Thr Gly Phe Ile Gly Trp Val Met Trp Leu Leu Val His Leu 

Met Phe Leu Val Gly Phe Arg Asn Arg Ala Thr Ala Ala Phe Ser Trp 410 405 Gly Ile Asn Ala Leu Ser Arg Lys Arg Trp Asn Leu Ala Thr Thr Arg 430 425 420 Gln Gln Leu His Gly Arg Thr Gly Leu Gln Lys Leu Thr Ala Leu Val 445 435 440 Asp Thr Ala Glu Lys Lys 450 <210> 7 <211> 1302 <212> DNA <213> Escherichia coli <220> <221> CDS <222> <400> 7 48 ttg act acg cca ttg aaa aag att gtg att gtc ggc ggc ggt gct ggt Met Thr Thr Pro Leu Lys Lys Ile Val Ile Val Gly Gly Ala Gly 15 5 10 1 96 ggg ctg gaa atg gca aca cag ctg ggg cat aag ctg gga cgc aag aaa Gly Leu Glu Met Ala Thr Gln Leu Gly His Lys Leu Gly Arg Lys 30 20 25 aaa gcc aaa att acg ctg gtc gat cgt aac cac agc cac ctg tgg aaa 144 Lys Ala Lys Ile Thr Leu Val Asp Arg Asn His Ser His Leu Trp Lys

45

40

35

ccg	ctg	ctg	cac	gaa	gtg	gcg	ac t	ggc	tcg	ctt	gat	gaa	ggc	gtc	gat	192
Pro	Leu	Leu	His	Glu	Val	Ala	Thr	Gly	Ser	Leu	Asp	Glu	Gly	Val	Asp	
	50					55					60					
						~										
gcg	ttg	agc	tat	ctg	gcc	cat	gcg	cgc	aat	cat	ggt	ttc	cag	ttc	cag	240
Ala	Leu	Ser	Tyr	Leu	Ala	His	Ala	Arg	Asn	His	Gly	Phe	Gln	Phe	Gln	
65					70	_				75					80	-
ctg	ggt	tcc	gtc	att	gat	att	gat	cgt	gaa	gcg	aaa	aca	atc	act	att	288
Leu	Gly	Ser	Val	Ile	Asp	Ile	Asp	Arg	Glu	Ala	Lys	Thr	Ile	Thr	Ile	
				85		,			90					95		•
						,										
gca	gaa	ctg	cgc	gac	gag	aaa	ggt	gaa	ctg	ctg	gtt	ccg	gaa	cgt	aaa	336
	Glu	•														
			100					105	•				110			
atc	gcc	tat	gac	acc	ctg	gta	atg	gcg	ctg	ggt	agc	acc	tct	aac	gat	384
	Ala															
,		115					120			1		125				
,																
ttc	aat	acg	çca	ggt	gtc	aaa	gag	aac	tgc	att	ttc	ctc	gat	aac	ccg	432
	Asn															
	130					135		•			140					
cac	cag	gcg	cgt	cgc	ttc	cac	cag	gag	atg	ctg	aat	ttg	ttc	ctg	aaa	480
	Gln															
145										155					160	
tac	tcc	gcc	aac	ctg	ggc	gcg	aat	ggc	aaa	gtg	aac	att	gcg	att	gtc	528
	Ser															
•				165					170					175		
							1									
ggc	ggc	ggc	gcg	acg	ggt	gta	gaa	ctc	tcc	gc t	gaa	ttg	cac	aac	gcg	576
	Gly															
	,	J	180		-			185					190			

			ctg	4												624
Val	Lys	Gln 195	Leu	His	Ser	Tyr	Gly 200	Tyr	Lys	Gly	Leu	Thr 205	Asn	Glu	Ala	
_			acg													672
Leu	Asn 210	Val	Thr	Leu	Val	Glu 215	Ala	Gly	Glu	Arg	11e 220	Leu	Pro	Ala	Leu	
			atc													720
Pro 225	Pro	Arg	Ile	Ser	Ala 230	Ala	Ala	His	Asn	G1 u 235	Leu	Thr	Lys	Leu	G1y 240	
_			ctg													768
val	Arg	vai	Leu	1nr 245	GIN	ınr	мет	vai	1nr 250	ser	Ala	ASP	GIU	255	ч	
			aaa											_		816
Leu	HIS	ınr	Lys 260	ASP	ыу	Gin	ГУГ	265	GIU	Ala	ASP	Leu	ме t 270	vai	.11ħ	
-			atc													864
Ala	Ala	G1y 275	Ile	Lys	Ala	Pro	280	Pne	Leu	Lys	ASD	285	Gly	Gly	Leu	
			cgt													912
Giu	Thr 290		Arg	11e	Asn	Gin 295		vai	vai	GIU	300		Leu	GIN	inr	
	_		cca													960
Thr 305	Arg	Asp	Pro	Asp	310	Tyr	Ala	11e	Gly	315	Cys	Ala	Ser	Cys	320	
															cag	1008
Arg	Pro	Glu	Gly	Gly 325	Phe	Val	Pro	Pro	Arg 330		Gln	Ala	Ala	His 335	GIn	

		act Thr			Asn					1056
		aaa Lys 355								1104
		ttc Phe								1152
	_	atg Met								1200
		atg Met								1248
		ctg Leu								1296
ttg	cat								1	302

Leu His

**<210>** 8

<211> 434

<212> PRT

<213> Escherichia coli

**<400>** 8

Met Thr Thr Pro Leu Lys Lys Ile Val Ile Val Gly Gly Ala Gly 1 10 15

Gly Leu Glu Met Ala Thr Gln Leu Gly His Lys Leu Gly Arg Lys Lys
20 25 30

- Lys Ala Lys Ile Thr Leu Val Asp Arg Asn His Ser His Leu Trp Lys
  35 40 45
- Pro Leu Leu His Glu Val Ala Thr Gly Ser Leu Asp Glu Gly Val Asp 50 55 60
- Ala Leu Ser Tyr Leu Ala His Ala Arg Asn His Gly Phe Gln Phe Gln 65 70 75 80
- Leu Gly Ser Val Ile Asp Ile Asp Arg Glu Ala Lys Thr Ile Thr Ile 85 90 95
- Ala Glu Leu Arg Asp Glu Lys Gly Glu Leu Leu Val Pro Glu Arg Lys 100 105 110
- Ile Ala Tyr Asp Thr Leu Val Met Ala Leu Gly Ser Thr Ser Asn Asp 115 120 125
- Phe Asn Thr Pro Gly Val Lys Glu Asn Cys Ile Phe Leu Asp Asn Pro 130 135 140
- His Gln Ala Arg Arg Phe His Gln Glu Met Leu Asn Leu Phe Leu Lys 145 150 155 160
- Tyr Ser Ala Asn Leu Gly Ala Asn Gly Lys Val Asn Ile Ala Ile Val 165 170 175
- Gly Gly Gly Ala Thr Gly Val Glu Leu Ser Ala Glu Leu His Asn Ala 180 185 190
- Val Lys Gln Leu His Ser Tyr Gly Tyr Lys Gly Leu Thr Asn Glu Ala 195 200 205

Leu Asn Val Thr Leu Val Glu Ala Gly Glu Arg Ile Leu Pro Ala Leu 210 215 220

- Pro Pro Arg Ile Ser Ala Ala Ala His Asn Glu Leu Thr Lys Leu Gly 225 230 235 240
- Val Arg Val Leu Thr Gln Thr Met Val Thr Ser Ala Asp Glu Gly Gly 245 250 255
- Leu His Thr Lys Asp Gly Glu Tyr Ile Glu Ala Asp Leu Met Val Trp
  260 265 270
- Ala Ala Gly Ile Lys Ala Pro Asp Phe Leu Lys Asp Ile Gly Gly Leu 275 280 285
- Glu Thr Asn Arg Ile Asn Gln Leu Val Val Glu Pro Thr Leu Gln Thr 290 295 300
- Thr Arg Asp Pro Asp Ile Tyr Ala Ile Gly Asp Cys Ala Ser Cys Pro 305 310 315 320
- Arg Pro Glu Gly Gly Phe Val Pro Pro Arg Ala Gln Ala Ala His Gln 325 330 335
- Met Ala Thr Cys Ala Met Asn Asn Ile Leu Ala Gln Met Asn Gly Lys 340 345 350
- Pro Leu Lys Asn Tyr Gln Tyr Lys Asp His Gly Ser Leu Val Ser Leu 355 360 365
- Ser Asn Phe Ser Thr Val Gly Ser Leu Met Gly Asn Leu Thr Arg Gly 370 375 380
- Ser Met Met Ile Glu Gly Arg Ile Ala Arg Phe Val Tyr Ile Ser Leu 385 390 395 400

Tyr Arg Met His Gln Ile Ala Leu His Gly Tyr Phe Lys Thr Gly Leu 405 410 415

Met Met Leu Val Gly Ser Ile Asn Arg Val Ile Arg Pro Arg Leu Lys 420 425 430

Leu His

<210> 9

<211> 1296

<212> DNA

<213> Pseudomonas fluorescens

<220>

<221> CDS

<222>

<400> 9

atg act cat cgt att gtc atc gtt ggc ggc ggc gcc ggc ggt ctg gag 48

Met Thr His Arg Ile Val Ile Val Gly Gly Gly Ala Gly Gly Leu Glu

1 5 10 15

ttg gct acc cgt ctg ggt aag act ctg ggc aag cgt ggc acg gcc agt
Leu Ala Thr Arg Leu Gly Lys Thr Leu Gly Lys Arg Gly Thr Ala Ser
20 25 30

gtg atg ctg gtc gac gcg aac ctg acc cac atc tgg aaa ccg cta ctg

Val Met Leu Val Asp Ala Asn Leu Thr His Ile Trp Lys Pro Leu Leu

35

40

45

cac gaa gtg gcc gcc ggc tcc ttg aac tcc tcc gaa gac gaa ctc aac 192 His Glu Val Ala Ala Gly Ser Leu Asn Ser Ser Glu Asp Glu Leu Asn 50 55 60

tat gtc gcc cag gca aaa tgg aac cac ttc gag ttc cag ctc ggg cgc 240

Tyr 65	Val	Ala	Gln	Ala	Lys 70	Trp	Asn	His	Phe	Glu 75	Phe	Gln	Leu	Gly	Arg 80	
	agc Ser															288
	gac Asp															<b>336</b>
	acc Thr															384
	ggc Gly 130											r				432
	cgc Arg										Leu					480
	cag Gln									Val					Ala	528
	gcg Ala			Val					Glu					Ala		576
	ctg Leu		Ala					Arg					ı Asn			624
atc	acc	cte	ato	: ៥៦៦	gee	ggg	сса	. cgc	gto	: ttg	g ccg	geo	cte	g CC2	gag	672

Ile	Thr 210	Leu	Ile	Glu	Ala	Gly 215	Pro	Arg	Val	Leu	Pro 220	Ala	Leu	Pro	Glu	1
														gtc Val		720
														ctg Leu 255		768
														gcc Ala		816
				-									Leu	gag Glu		864
												Gln		acc Thr	cgc Arg	912
	Glu					Phe					Ala			caa Gln		960
					Val					Gln				cag Gln 335	Gln	1008
				ı Ala					Let						gcc Ala	1056
ctg	g ccg	gaa	ı tac	aaa	ı tac	acc	gac	: tac	gg	e teg	g ctg	gato	tcg:	gctg	tcg	1104

Leu Pro Glu Tyr Lys Tyr Thr Asp Tyr Gly Ser Leu Ile Ser Leu Ser cgg ttc tcg gca gtg ggc aac ctg atg ggt aac ctg acc ggc agc gtg Arg Phe Ser Ala Val Gly Asn Leu Met Gly Asn Leu Thr Gly Ser Val atg ctc gaa ggc tgg ctg gcg cgg atg ttc tat gtg tcg ctg tac cgc Met Leu Glu Gly Trp Leu Ala Arg Met Phe Tyr Val Ser Leu Tyr Arg atg cac cag atg gcg ctg tac ggc atg ttc cgc acg gcc atg ttg atg Met His Gln Met Ala Leu Tyr Gly Met Phe Arg Thr Ala Met Leu Met ctg ggt agc aag atc ggg cgt ggg acc gag cct cgg ctg aag ctg cac Leu Gly Ser Lys Ile Gly Arg Gly Thr Glu Pro Arg Leu Lys Leu His <210> 10 <211> 432 <212> PRT <213> Pseudomonas fluorescens <400> 10 Met Thr His Arg Ile Val Ile Val Gly Gly Ala Gly Gly Leu Glu Leu Ala Thr Arg Leu Gly Lys Thr Leu Gly Lys Arg Gly Thr Ala Ser Val Met Leu Val Asp Ala Asn Leu Thr His Ile Trp Lys Pro Leu Leu His Glu Val Ala Ala Gly Ser Leu Asn Ser Ser Glu Asp Glu Leu Asn

Tyr Val Ala Gln Ala Lys Trp Asn His Phe Glu Phe Gln Leu Gly Arg 65 70 75 80

- Met Ser Gly Leu Asp Arg Glu Arg Lys Arg Ile Gln Leu Ala Ala Thr 85 90 95
- Tyr Asp Glu Thr Gly Val Glu Leu Leu Pro Ala Arg Glu Leu Gly Tyr 100 105 110
- Asp Thr Leu Val Ile Ala Val Gly Ser Thr Thr Asn Asp Phe Gly Thr 115 120 125
- Glu Gly Ala Ala Gln His Cys Leu Phe Leu Asp Thr Arg Lys Gln Ala 130 135 140
- Gly Gln Thr Asp Ile Val Glu Arg Ile Ser Val Ala Ile Val Gly Ala 165 170 175
- Gly Ala Thr Gly Val Glu Leu Ala Ala Glu Leu His Asn Ala Ala His 180 185 190
- Glu Leu His Ala Tyr Gly Leu Asp Arg Ile Lys Pro Glu Asn Met His 195 200 205
- Ile Thr Leu Ile Glu Ala Gly Pro Arg Val Leu Pro Ala Leu Pro Glu 210 215 220
- Arg Ile Gly Gly Pro Val His Lys Thr Leu Glu Lys Leu Gly Val Asn 225 230 235 240
- Val Met Thr Asn Ala Ala Val Ser Gln Val Thr Ala Asp Ser Leu Ile 245 250 255

Thr Ala Asp Gly Lys Val Ile Asp Ala Ser Leu Lys Val Trp Ala Ala 260 265 270

- Gly Ile Arg Ala Pro Asp Phe Leu Lys Asp Ile Asp Gly Leu Glu Thr 275 280 285
- Asn Arg Ile Asn Gln Leu His Val Leu Pro Thr Leu Gln Thr Thr Arg 290 295 300
- Asp Glu Asn Ile Phe Ala Phe Gly Asp Cys Ala Ala Cys Pro Gln Pro 305 310 315 320
  - Gly Ser Glu Arg Asn Val Pro Pro Arg Ala Gln Ala Ala His Gln Gln 325 330 335
  - Ala Ser Leu Leu Ala Lys Ser Leu Lys Leu Arg Ile Glu Gly Lys Ala 340 345 350
  - Leu Pro Glu Tyr Lys Tyr Thr Asp Tyr Gly Ser Leu Ile Ser Leu Ser 355 360 365
  - Arg Phe Ser Ala Val Gly Asn Leu Met Gly Asn Leu Thr Gly Ser Val 370 375 380
  - Met Leu Glu Gly Trp Leu Ala Arg Met Phe Tyr Val Ser Leu Tyr Arg 385 390 395 400
  - Met His Gln Met Ala Leu Tyr Gly Met Phe Arg Thr Ala Met Leu Met 405 410 415
  - Leu Gly Ser Lys Ile Gly Arg Gly Thr Glu Pro Arg Leu Lys Leu His
    420 425 430

<210> 11 <211> 1296

<212> DNA <213> Azotobacter vinelandii <220> <221> CDS <222> <400> 11 atg act cat cgt atc gta atc gtc ggc ggt ggc gct ggc gtg gaa 48 Met Thr His Arg Ile Val Ile Val Gly Gly Ala Gly Gly Val Glu 15 5 10 1 ctc gct acc cgc ctc ggc aag acc atg ggc agg aac ttc cag gcg aag 96 Leu Ala Thr Arg Leu Gly Lys Thr Met Gly Arg Asn Phe Gln Ala Lys 25 30 20 atc acc ctg gtc gac gcc aac atg acc cac ctg tgg aaa ccg ctg ctg 144 Ile Thr Leu Val Asp Ala Asn Met Thr His Leu Trp Lys Pro Leu Leu 45 40 35 cac gaa gtc gcc gcc ggc tcg ctg aac tcg acc ggc gac gaa ctg aac 192 His Glu Val Ala Ala Gly Ser Leu Asn Ser Thr Gly Asp Glu Leu Asn 60 55 50 240 tat gtg gcc cag gcc aaa tgg aac aac ttc gag ttc cag tac ggc cgc Tyr Val Ala Gln Ala Lys Trp Asn Asn Phe Glu Phe Gln Tyr Gly Arg 80 75 70 65 288 atg tgc ggt ctg gac cgg gcc aac aag cgt atc cgc ctg gcg gcc cag Met Cys Gly Leu Asp Arg Ala Asn Lys Arg Ile Arg Leu Ala Ala Gln 95 90 85 ccg gcc cag gaa gat cgc gcg ccc ctg ccc gag cgc gaa ctg gaa tac 336 Pro Ala Gln Glu Asp Arg Ala Pro Leu Pro Glu Arg Glu Leu Glu Tyr 110 105 100

_				ctt												384
Asp	Thr	Leu 115	Val	Leu	Ser	Val	Gly 120	Ser	Thr	Thr	Asn	125	Phe	Gly	Thr	
				gag												432
Pro	Gly 130	Ala	Ala	Glu	Asn	135	He	Phe	Leu	Glu	140	Arg	Asp	GIN	Ala	
				cgt												480
Glu 145	Arg	Phe	Arg	Arg	Pro 150		Leu	Ser	His	Tyr. 155	Leu	Arg	Ala	HIS	A1a 160	
				ggc												528
Ser	Asn	Asp	Asp	Gly 165	His	Gln	Val	Lys	va1 170	Ala	He	Vaļ	Gly	A1a 175	Gly	
gcc	acc	ggg	gtc	gaa	ctg	gcc	gca.	gaa	ctg	cgc	cac	gcc	tcc	aag	gaa	576
Ala	Thr	Gly	Val 180	Glu	Leu	Ala	Ala	Glu 185	Leu	Arg	His	Ala	Ser 190	Lys	Glu	
ctg	gtc	gcc	tat	ggg	ctg	gag	cgc	att	ccg	ccg	gag	aac	ctc	agc	atc	624
Leu	Val	Ala 195	Tyr	Gly	Leu	Glu	Arg 200	Ile	Pro	Pro	Glu	Asn 205	Leu	Ser	Ile	
acg	ctg	atc	gaa	t,c c	agc	ccg	cgt	gta	ctc	gcc	gcc	ctg	ccc	gaa	cgc	672
Thr	Leu 210		Glu	Ser	Ser	Pro 215		Val	Leu	Ala	Ala 220		Pro	Glu	Arg	
atc	agc	cgc	tcc	gcg	cac.	gcc	acc	ctg	gaa	agc	ctg	ggc	gtt	cgc	gtg	720
Ile 225	Ser	Arg	Ser	Ala	His 230	Ala	Thr	Leu	Glu	Ser 235	Leu	Gly	Val	Arg	Val 240	
ctc	gtc	agc	acc	gcc	gtc	agc	gag	gtc	acc	gcg	gaa	ggc	gtg	aag	acg	768
Leu	Val	Ser	Thr	Ala 245	Val	Ser	Glu	Val	Thr 250	Ala	Glu	Gly	Val	Lys 255	Thr	

_	_	_									gtc					816
Lys	Asp	Asp	Gln 260	Phe	Ile	Pro	Ala	Asp 265	Leu	Met	Val	Trp	Ala 270	Ala	Gly	
gtc	cgc	gcg	ccc	gcc	ttc	ctc	aag	gag	ctg	gat	ggt	ctg	gaa	acc	aat	864
											Gly					
						1				,			1	- +	ma a	019
											cag					912
Arg	290	ASI	GIN	Leu	GIII	295	Arg	GIII	1111	Leu	Gln 300	1111	1111	Leu	лэр	
gac	gat	atc	ttc	gcċ	ttc	ggc	gat	tgt	gcc	tcc	tgc	ccg	cag	ccg	ggt	960
Asp 305	Asp	Ile	Phe	Ala	Phe 310	Gly	Asp	Cys	Ala	Ser 315	Cys	Pro	Gln	Pro	Gly 320	i
acc	gac	cgc	ccc	gtt	ccg	ccg	cgc	gcc	cag	gcc	gct	cac	cag	cag	gcc	1008
				Val					Gln	Ala	Ala			Gln		
			i.	325					330			,		335		
											cag					1056
Ser	Leu	Leu			Ser	Leu	His		Lys	Leu	Gln	Glu	Asp 350		Leu	
			340					345					550	,		
															tcg	1104
Cys	Trp			Ala	Thr	Ala			Gly	Ser	Leu	11e 365		Leu	Ser	
	•	355	•				360	ı				000				
															gtg	1152
Ser			Ala	lle	Gly	Asn 375		Met	Gly	Asn	Leu 380		Gly	Asn	Val	
	370					3 ( )	)				000					
															cgc	1200
		Glu	ıGly	Trp			a Arg	g Lys	Phe			Sei	: Let	ı Tyı	Arg	
222					390	)				395	)				400	

atg cac cag atg gcg ctc tac ggt acc ttc cgc acc ctg atg atg atg 1248

Met His Gln Met Ala Leu Tyr Gly Thr Phe Arg Thr Leu Met Met

405

410

415

ctg ggc gac cgc ttc cgc agc agc acc gaa ccc cgc ctc aag ctt cac 1296 Leu Gly Asp Arg Phe Arg Ser Ser Thr Glu Pro Arg Leu Lys Leu His 420 425 430

<210> 12

<211> 432

<212> PRT

<213> Azotobacter vinelandii

<400> 12

Met Thr His Arg Ile Val Ile Val Gly Gly Gly Ala Gly Gly Val Glu
1 5 10 15

Leu Ala Thr Arg Leu Gly Lys Thr Met Gly Arg Asn Phe Gln Ala Lys
20 25 30

Ile Thr Leu Val Asp Ala Asn Met Thr His Leu Trp Lys Pro Leu Leu 35 40 45

His Glu Val Ala Ala Gly Ser Leu Asn Ser Thr Gly Asp Glu Leu Asn 50 55 60

Tyr Val Ala Gln Ala Lys Trp Asn Asn Phe Glu Phe Gln Tyr Gly Arg 65 70 75 80

Met Cys Gly Leu Asp Arg Ala Asn Lys Arg Ile Arg Leu Ala Ala Gln 85 90 95

Pro Ala Glu Asp Arg Ala Pro Leu Pro Glu Arg Glu Leu Glu Tyr 100 105 110 Asp Thr Leu Val Leu Ser Val Gly Ser Thr Thr Asn Asp Phe Gly Thr 115 120 125

- Pro Gly Ala Ala Glu Asn Cys Ile Phe Leu Glu Gly Arg Asp Gln Ala 130 135 140
- Ser Asn Asp Asp Gly His Gln Val Lys Val Ala Ile Val Gly Ala Gly
  165 170 175
- Ala Thr Gly Val Glu Leu Ala Ala Glu Leu Arg His Ala Ser Lys Glu 180 185 190
- Leu Val Ala Tyr Gly Leu Glu Arg Ile Pro Pro Glu Asn Leu Ser Ile 195 200 205
- Thr Leu Ile Glu Ser Ser Pro Arg Val Leu Ala Ala Leu Pro Glu Arg 210 215 220
- Ile Ser Arg Ser Ala His Ala Thr Leu Glu Ser Leu Gly Val Arg Val225230235240
- Leu Val Ser Thr Ala Val Ser Glu Val Thr Ala Glu Gly Val Lys Thr 245 250 255
- Lys Asp Asp Gln Phe Ile Pro Ala Asp Leu Met Val Trp Ala Ala Gly 260 265 270
- Val Arg Ala Pro Ala Phe Leu Lys Glu Leu Asp Gly Leu Glu Thr Asn 275 280 285
- Arg Ile Asn Gln Leu Gln Val Arg Gln Thr Leu Gln Thr Thr Leu Asp 290 295 300

Asp Asp Ile Phe Ala Phe Gly Asp Cys Ala Ser Cys Pro Gln Pro Gly 305 310 315 320

Thr Asp Arg Pro Val Pro Pro Arg Ala Gln Ala Ala His Gln Gln Ala 325 330 335

Ser Leu Leu Ala Lys Ser Leu His Arg Lys Leu Gln Glu Asp Ser Leu 340 345 350

Cys Trp Ser Ile Ala Thr Ala Asn His Gly Ser Leu Ile Ser Leu Ser 355 360 365

Ser Phe Ser Ala Ile Gly Asn Leu Met Gly Asn Leu Thr Gly Asn Val 370 375 380

Thr Leu Glu Gly Trp Leu Ala Arg Lys Phe Tyr Ile Ser Leu Tyr Arg 385 390 395 400

Met His Gln Met Ala Leu Tyr Gly Thr Phe Arg Thr Leu Met Met 405 410 415

Leu Gly Asp Arg Phe Arg Ser Ser Thr Glu Pro Arg Leu Lys Leu His
420 425 430

<210> 13

<211> 1302

<212> DNA

<213> Salmonella typhimurium LT2

<220>

<221> CDS

<222>

<400> 13

		aca														48
Met	Thr	Thr	Pro	Leu	Lys	Lys	Ile	Val	Ile	Val	Gly	Gly	Gly		Gly	
1				5					10					15		
																0.0
		gaa														96
Gly	Leu	Glu		Ala	Thr	Gln	Leu		His	Lys	Leu	Gly		Lys	Lys	
			20					25					30		•	
0.00	GO G	aaa	n t c	200	e t a	ort a	σac	១៤១	aat	cac	age	cat	ctg	t.gg	aaa	144
		Lys														
LyS	Ala	35	116	1 11 1	LCu	v a i	40	m 5	11511	1115	DUI	45	Bou		-3-	i
		00					10									
cca	ttg	ctg	cac	gaa	gtg	gcg	ac t	ggc	tct	ctg	gac	gaa	ggc	gtg	gat	192
		Leu														
	50		,			55					60					
											,					
		agc														240
Ala	Leu	Ser	Tyr	Leu	Ala	His	Ala	Arg	Asn	His	Gly	Phe	Gln	Phe		
65					70					75	,	4			80	
													,		1 1	000
		tcg														288
Leu	Gly	Ser	Val			·Ile	Asp	Arg			. Lys	Inr	116			
				85		,			90					95		
		. 11	1	1	~~~		~~~	~ n	a t a	· o t o	r orto		. ധാവ		222	336
															aaa Lys	000
Ala	. Glu	Leu	100		Glu			105		Licu	ı vuı	110	110		, 1,0	
			100					100	•				110			
atc	മറമ	r tat	gac	: ac2	ctg	gtg	atg	gcg	s ctg	ggg	ago	acc	tct	aat	gat	384
															a Asp	
110		115					120					125				
tto	aac	c ace	cce	ggg	gtg	g aaa	ı gaş	g cao	tgt:	ato	c tto	cto	gai	t aac	c ccg	432
Phe	e Asr	ı Thı	Pro	Gly	/ Val	Lys	Glu	ı His	s Cys	s Ile	e Pho	e Lei	ı Ası	Ası	n Pro	
	130	)				135	5				140	)				

										ctc Leu		480
										atc Ile 175		528
										aat Asn		576
										gac Asp		624
										gcg Ala		672
				Ala				Leu		ctg Leu		720
			Gln				Ser			ggc Gly 255	Gly	768
		Glu				Gln				t Val	tgg Trp	816
	Ile				Phe				Gly		ctg Leu	864

										acg Thr			912
										gct Ala			960
										gcg Ala			1008
										atg Met			1056
						Asp				ctg Leu 365			1104
	Phe				Ser					ctg Leu			1152
Met				Arg					· Val			cta Leu 400	1200
			Ile					Ty1				ctg Leu	1248
		Gly					g Val				g Lei	g aaa 1 Lys	1296

1302

ctg cat

Leu His

<210> 14

<211> 434

<212> PRT

<213> Salmonella typhimurium LT2

<400> 14

Met Thr Thr Pro Leu Lys Lys Ile Val Ile Val Gly Gly Gly Ala Gly
1 5 10 15

Gly Leu Glu Met Ala Thr Gln Leu Gly His Lys Leu Gly Arg Lys Lys 20 25 30

Lys Ala Lys Ile Thr Leu Val Asp Arg Asn His Ser His Leu Trp Lys 35 40 45

Pro Leu Leu His Glu Val Ala Thr Gly Ser Leu Asp Glu Gly Val Asp 50 55 60

Ala Leu Ser Tyr Leu Ala His Ala Arg Asn His Gly Phe Gln Phe Gln 65 70 75 80

Leu Gly Ser Val Met Asp Ile Asp Arg Glu Ala Lys Thr Ile Thr Ile 85 90 95

Ala Glu Leu Arg Asp Glu Lys Gly Glu Leu Leu Val Pro Glu Arg Lys 100 105 110

Ile Ala Tyr Asp Thr Leu Val Met Ala Leu Gly Ser Thr Ser Asn Asp 115 120 125

Phe Asn Thr Pro Gly Val Lys Glu His Cys Ile Phe Leu Asp Asn Pro 130 135 140

His	Gln	Ala	Arg	Arg	Phe	His	Gln	Glu	Met	Leu	Asn	Leu	Phe	Leu	Lys
145					150				*	155					160

- Tyr Ser Ala Asn Leu Gly Ala Asn Gly Lys Val Asn Ile Ala Ile Val 165 170 175
- Gly Gly Gly Ala Thr Gly Val Glu Leu Ser Ala Glu Leu His Asn Ala 180 185 190
- Val Lys Gln Leu His Ser Tyr Gly Tyr Lys Gly Leu Thr Asn Asp Ala 195 200 205
- Leu Asn Val Thr Leu Val Glu Ala Gly Glu Arg Ile Leu Pro Ala Leu 210 215 220
- Pro Pro Arg Ile Ser Ser Ala Ala His Asn Glu Leu Thr Lys Leu Gly 225 230 235 240
- Val Arg Val Leu Thr Gln Thr Met Val Thr Ser Ala Asp Glu Gly Gly 245 250 255
- Leu His Thr Lys Glu Gly Glu Tyr Ile Gln Ala Asp Leu Met Val Trp 260 265 270
- Ala Ala Gly Ile Lys Ala Pro Asp Phe Met Lys Glu Ile Gly Gly Leu 275 280 285
- Glu Thr Asn Arg Ile Asn Gln Leu Val Val Glu Pro Thr Leu Gln Thr 290 295 300
- Thr Arg Asp Pro Asp Ile Tyr Ala Ile Gly Asp Cys Ala Ser Cys Ala 305 310 315 320
- Arg Pro Glu Gly Gly Phe Val Pro Pro Arg Ala Gln Ala Ala His Gln 325 330 335

Met Ala Thr Cys Ala Met Lys Asn Ile Leu Ala Gln Met Asn Gly Lys 340 345 350

Pro Leu Lys Ala Tyr Gln Tyr Lys Asp His Gly Ser Leu Val Ser Leu 355 360 365

Ser Asn Phe Ser Thr Val Gly Ser Leu Met Gly Asn Leu Thr Arg Gly 370 375 380

Ser Met Met Ile Glu Gly Arg Ile Ala Arg Phe Val Tyr Ile Ser Leu 385 390 395 400

Tyr Arg Met His Gln Ile Ala Leu His Gly Tyr Phe Lys Thr Gly Leu 405 410 415

Met Met Leu Val Gly Ser Ile Asn Arg Val Ile Arg Pro Arg Leu Lys 420 425 430

Leu His

<210> 15

<211> 1908

<212> DNA

<213> Lactobacillus plantarum WCFS1

<220>

<221> CDS

<222>

<400> 15

atg gca aag aaa aat att gtc gtt gtc ggt gcg ggg ttt gct ggt gtt 48
Met Ala Lys Lys Asn Ile Val Val Val Gly Ala Gly Phe Ala Gly Val
1 5 10 15

tac	gca	acc	aag	aaa	ctg	tct	aag	cat	ttc	aaa	aaa	aat	gca	gac	gtc	96
Tyr	Ala	Thr	Lys	Lys	Leu	Ser	Lys	His	Phe	Lys	Lys	Asn	Ala	Asp	Val	
			20					25					30			
								*								
								tca								144
Glu	Ile	Thr	Leu	Пe	Asp	Arg	His	Ser	Tyr	Phe	Thr		Met	Thr	Glu	
		35					40					45				
	1		14	t		~~.	a crc	at a	orn n	c c t	നമന	cat	a t c	<b>៤</b> ១១	tat	192
								gtg								102
Leu		GIU	vai	Ala	ш		AIg	Val	Giu	110	60	1112	110		1 9 1	
	50					55					00					
gat	ttg	caa	cgg	ttg	ttc	gca	cgg	cga	aaa	aac	gtt	cgt	ctc	gtg	acc	240
								Arg								
65			0		70					75					80	
gat	acc	gtg	acg	ggc	atc	gac	aaa	aag	gca	caa	aca	gtt	ac t	acc	gaa	288
															Glu	
•		'		85					90					95		
cac	gga	agt	tat	caa	tat	gat	caa	. ctt	tta	att	agt	ttg	ggt	ggg	gaa	336
His	Gly	Ser	Tyr	Gln	Tyr	Asp	Gln	Leu	Leu	Ile	Ser	Leu	Gly	Gly	Glu	
			100	)				105					110	)		
	1						,				,					
															ıttg	384
Ser	Asn	Asp	) Phe	e Gly	Thr	Pro			Lys	Glt	ı His			e Gli	ı Leu	
		115	5				120	)				125				
,													t of	t ores	2 2 1 1	432
															a att	102
Trp			e GII	ı Gir	ı Ala			ı Leu	I ATE	g Ala			ı sei	I AI	a Ile	
	130	J				135	)				140	,				
a + +	e e ere	ያ <i>ው</i> ም	מ ממי	ታ ወቀር	ፓ ወሶር	r ga	or eta	r gar	e coi	t gc	t aag	g Cgo	c aas	a gc	c atg	480
															a Met	
145		5 AI	6 UI.	, 111 C	150			~ *101	'	15					160	
1 7 6	,					-										

														ctg		528
Leu	Thr	Phe	Thr	Val	Cys	Gly	Ser	Gly		Thr	Gly	Ser	Glu	Leu	Ile	
	,			165					170					175		
ggt	gaa	tta	atc	gaa	tat	cgt	gat	gtt	ttg	gct	cga	gac	aac	aag	ctc	576
														Lys		
•			180					185					190			
gat	cca	agt	gaa	atc	acg	ctc	caa	ttg	gtc	gaa	gca	gcg	ccg	act	att	624
														Thr		
_		195					200		,			205				
att	aac	atg	ctc	aac.	cgg	acg	caa	gcc	ggt	aag	gcc	gct	aag	tac	atg	672
														Tyr		
	210					215					220					
gaa	aaa	cat	ggt	gtc	aaa	atc	atg	acg	aac	tcc	atg	att	acc	gaa	gtc	720
														Glu		
225	•				230					235					240	
tgt	gaa	gac	cat	gtt	aac	tta	aaa	ggc	aag	gat	cca	att	cca	acc	tac	768
Cys	Glu	Asp	His	Val	Asn	Leu	Lys	Gly	Lys	Asp	Pro	Ile	Pro	Thr	Tyr	
				245					250					255		
acg	tta	atc	tgg	aca	gcc	ggt	gtt	cgt	gct	aat	agt	atc	gtt	aaa	aag	816
Thr	Leu	Ile	Trp	Thr	Ala	Gly	Val	Arg	Ala	Asn	Ser	Ile	Val	Lys	Lys	
			260	1				265					270	)		
ttc	ggc	att	gaa	act	aac	ccc	cgc	ggt	ggt	. cgc	ttg	ate	gco	e aat	gaa	864
Phe	Gly	Ile	Glu	Thr	Asn	Pro	Arg	g Gly	Gly	Arg	g Leu	Met	Ala	a Asn	Glu	*
		275					280			,		285				
ttc	atg	: caa	ı gct	aag	g gat	tgt:	aac	: aat	ato	: ttc	: tta	ı gcc	gg	t gat	tca	912
															Ser	
	290					295					300					

								gtc Val				960
								gaa Glu				1008
								ttt. Phe				1056
•								gcc Ala				1104
								gtg Val 380				1152
Ile				Tyr				Ser			cta Leu 400	1200
			His				Thr				aac ; Asn	1248
		Trp				Gly				Ser	gtg Val	1296
	g Phe				ı Met				Cys		g act	1344

				gaa Glu										1392
				gtg Val 470										1440
				agt Ser										1488
				gtc Val										1536
				gac Asp							Ser			1584
		Phe		aac Asn		Gln				Phe				1632
	Thr				Val				Ιle				ctc Leu 560	1680
				. Asn				Gly					ttc Phe	1728
			Met				Ası					e Pho	t gtt e Val	1776

gcc ctc gcc tta atg aac ggt tcc gga cgg aca ttt ggg tta gac tac 1824 Ala Leu Ala Leu Met Asn Gly Ser Gly Arg Thr Phe Gly Leu Asp Tyr 595 600 605

tgg gtc gtt ccg tgg atg caa aaa cac ctt gga cac tgg tgg tac ggc 1872
Trp Val Val Pro Trp Met Gln Lys His Leu Gly His Trp Trp Tyr Gly
610 615 620

aac gtt cgt tct cat tac gac ggt gtt aaa acc cgc
Asn Val Arg Ser His Tyr Asp Gly Val Lys Thr Arg
625 630 635

<210> 16

<211> 636

<212> PRT

<213> Lactobacillus plantarum WCFS1

<400> 16

Met Ala Lys Lys Asn Ile Val Val Val Gly Ala Gly Phe Ala Gly Val

Tyr Ala Thr Lys Lys Leu Ser Lys His Phe Lys Lys Asn Ala Asp Val 20 25 30

Glu Ile Thr Leu Ile Asp Arg His Ser Tyr Phe Thr Tyr Met Thr Glu 35 40 45

Leu His Glu Val Ala Thr Glu Arg Val Glu Pro Glu His Ile Gln Tyr
50 55 60

Asp Leu Gln Arg Leu Phe Ala Arg Arg Lys Asn Val Arg Leu Val Thr 65 70 75 80

Asp Thr Val Thr Gly Ile Asp Lys Lys Ala Gln Thr Val Thr Thr Glu 85 90 95

His Gly Ser Tyr Gln Tyr Asp Gln Leu Leu Ile Ser Leu Gly Gly Glu 100 105 110

- Ser Asn Asp Phe Gly Thr Pro Gly Val Lys Glu His Gly Phe Glu Leu 115 120 125
- Trp Ser Phe Glu Gln Ala Met Ala Leu Arg Ala His Leu Ser Ala Ile 130 135 140
- Leu Thr Phe Thr Val Cys Gly Ser Gly Phe Thr Gly Ser Glu Leu Ile 165 170 175
- Gly Glu Leu Ile Glu Tyr Arg Asp Val Leu Ala Arg Asp Asn Lys Leu 180 185 190
- Asp Pro Ser Glu Ile Thr Leu Gln Leu Val Glu Ala Ala Pro Thr Ile 195 200 205
- Ile Asn Met Leu Asn Arg Thr Gln Ala Gly Lys Ala Ala Lys Tyr Met 210 215 220
- Glu Lys His Gly Val Lys Ile Met Thr Asn Ser Met Ile Thr Glu Val 225 230 235 240
- Cys Glu Asp His Val Asn Leu Lys Gly Lys Asp Pro Ile Pro Thr Tyr 245 250 255
- Thr Leu Ile Trp Thr Ala Gly Val Arg Ala Asn Ser Ile Val Lys Lys
  260 265 270
- Phe Gly Ile Glu Thr Asn Pro Arg Gly Gly Arg Leu Met Ala Asn Glu 275 280 285

Phe Met Gln Ala Lys Asp Cys Asn Asn Ile Phe Leu Ala Gly Asp Ser Thr Ser Tyr Gln Glu Pro Asp Gln Pro Arg Pro Val Pro Gln Ile Val Gln Gly Ala Glu Glu Thr Ala Ala Lys Ala Val Glu Gly Ile Ile Lys Asn Val Asp Gln Thr Asp Val Thr Ile Lys Pro Phe Lys Gly Ala Tyr Gln Ala Ser Val Asp Ser Ile Gly Ser Lys Tyr Ala Val Ala Gln Val Leu Glu Lys Trp Asn Val Ser Gly Phe Ile Ala Val Leu Leu Lys His Ala Ile Asn Trp Met Tyr Tyr Val Gln Ile Phe Ser Gly Tyr Tyr Leu Phe Gln Tyr Phe Met His Glu Phe Phe Arg Thr Arg Asn Asn Arg Asn Val Phe Arg Gly Trp Val Ser Arg Ala Gly Asn Val Leu Trp Ser Val Pro Leu Arg Phe Phe Tyr Gly Ala Met Trp Leu Trp Asp Cys Trp Thr Lys Val Gln Gly Ser Glu Ser Trp Phe Thr Asp Lys Leu Arg Leu Pro Phe Glu Trp Ile Thr Val Ala Ala Thr Ser Gly Ala Ser Gln Ala Thr 

Lys Ala Ala Ala Thr Ser Gly Ala Ser Glu Ala Ala Thr Ser Thr Val Lys Ala Ala Lys Gly Val Phe Ser Leu Ser Tyr Met Tyr Gly Lys Glu Pro Leu Met Val Phe Asp Lys Met Pro His Trp Phe Glu Ser Ile Thr Lys Val Phe Ile Pro Asn Met Gln Met Ala Leu Phe Phe Gln Lys Phe Met Thr Cys Val Glu Ile Val Ile Ala Leu Cys Ile Phe Phe Gly Leu Phe Thr Trp Phe Ala Asn Ala Val Thr Ile Gly Leu Val Val Val Phe Cys Leu Ser Gly Met Phe Tyr Trp Val Asn Ile Trp Met Ile Phe Val Ala Leu Ala Leu Met Asn Gly Ser Gly Arg Thr Phe Gly Leu Asp Tyr Trp Val Val Pro Trp Met Gln Lys His Leu Gly His Trp Trp Tyr Gly Asn Val Arg Ser His Tyr Asp Gly Val Lys Thr Arg 

様式 PCT/RO/134 (SAFE)					
この奇託された微生物又はその他の生物 材料に関する表示 (PCT規則13の2)は、					
右記によって作成された。	PCT-SAFE [EASY mode]				
· ·	Version 3.50 (Build 0002.163)				
国際出願番号	PGT/JP 2 C G 5 / O O 3 6 9 4				
出願人又は代理人の書類記号	1657				
下記の表示は発明の詳細な説明中に記載された微生物又は生物材料に関連している					
記載頁	18				
行	30				
寄託の表示					
寄託機関の名称	IPOD (独)産業技術総合研究所 特許生物寄託センター (IPOD)				
帝託機関のあて名 日本国 〒305-8566 茨城県つくば市東1丁目1番地1 中央第6					
寄託の日付	2004年 02月 19日 (19.02.2004)				
受託番号	IPOD FERM BP-08633				
追加の表示	ヨーロッパ特許条約施行規則28 (3) の規定に基づき、微生物が請求人により推薦された専門家にのみ試料分譲されることを可能とすることを出願人は希望する (Rule 28(4) EPC)				
この表示を行うための指定国	すべての指定国				
	受理官庁記入欄				
この用紙は国際出願とともに受理した (はい/いいえ)	✓				
権限のある職員	萬崎茂大				
	国際事務局記入欄				
この用紙が国際事務局に受理された日	4.7 March 2005				
権限のある職員	間位于				
	この寄託された微生物又はその他の生物 材料に関する表示 (PCT規則13の2)は、 右記によって作成された。  国際出願番号  出願人又は代理人の書類記号  下記の表示は発明の詳細な説明中に記載された微生物又は生物材料に関連している。 記載頁 行  寄託の表示 寄託機関の名称  寄託機関のあて名  寄託の目付 受託番号  追加の表示  この表示を行うための指定国  この用紙は国際出願とともに受理した (はい/いいえ) 権限のある職員				

### 書式8(第7条第1項関係)

「特許手続上の微生物の寄託の国際的承認 に関するブタペスト条約」

下記国際寄託当局によって規則7.1に従い 発行される。 BUTAPEST TREATY OF THE INTERNATIONAL
RECOGNITION OF THE DEPOSIT OF MICROORGANISMS
FOR THE PURPOSES OF PATENT PROCEDURE
RECEIPT IN THE CASE OF AN ORIGINAL DEPOSIT
issued pursuant to Rule 7.1 by the INTERNATIONAL

DEPOSIT AUTHORITY identified at the bottom of this page.

# 原寄託についての受託証

氏名 (名称)

協和醗酵工業株式会社 取締役社長 松田 譲 殿

あて名

T 100-8185

東京都千代田区大手町一丁目6番1号

## 1. 微生物の表示

、寄託者が付した識別のための表示)

Escherichia coli DH5α/pCS-CGndh

(受託番号)

FERM BP- 08633

2. 科学的性質及び分類学上の位置

1欄の微生物には、次の事項を記載した文章が添付されていた。

厂 科学的性質

▼ 分類学上の位置

3. 受領及び受託

本国際寄託当局は、 2004 年 2 月 19 日(原寄託日)に受領した1欄の微生物を受託する。

4. 移管請求の受領

本国際寄託当局は、年月日(原寄託日)に受領した1欄の微生物を受託した。

そして、年月日に原寄託によりブタペスト条約に基づく寄託への移管請求を受領した。

#### 5. 国際客託当局

ム称 独立行政法人産業技術総合研究所 特許生物寄託センター

International Patent Organism Depositary
National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (1)

センター長 岡

Dr.Syuichi Oka, Direct

あて名 日本国茨城県つくば市東1丁目1番地1 中央第6(郵便番号305-8566)

AIST Tsukuba Central 6, 1-1, Higashi 1-Chome Tsukuba-shi, Ibaraki-ken 305-8566 Japan

平成 16 年 (04) 2 月 20 日

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/003694

	FC1/0F2	.003/003034						
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl <sup>7</sup> Cl2N15/09, 1/21, Cl2P13/04								
According to International Patent Classification (IPC) or to both national	According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC							
B. FIELDS SEARCHED								
Minimum documentation searched (classification system followed by classification system followed by classifi	assification symbols)							
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2005 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2005 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2005								
Electronic data base consulted during the international search (name of c JSTPLUS(JOIS), BIOSIS/WPI(DIALOG), Sw GenBank/EMBL/DDBJ/GeneSeq, MEDLINE(ST	vissProt/PIR/GeneSeq,	erms used)						
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT								
Category* Citation of document, with indication, where ap		Relevant to claim No.						
Y "Corynebacterium glutamicum n Database Ganbank Accession No 03 December, 2000 (03.12.00), on 25 April, 2005 (25.04.05)]	o.AJ238250, [retrieved	1-20,22,25, 26						
Y JP 2002-17361 A (Ajinomoto C 22 January, 2002 (22.01.02), & US 2002/0160461 A1 & EP & AU 005416901 A1 & CN & BR 000102666 A & PL	1-20,22,25, 26							
Y Bott M. et al., "The respirat Corynebacterium glutamicum.", 04 September, 2003 (04.09.03) 129 to 153	J. Bioltechnol.,	1-20,22,25, 26						
X Further documents are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.							
* Special categories of cited documents:  "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance  "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date  "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is	<ul> <li>"T" later document published after the integrated and not in conflict with the application the principle or theory underlying the its document of particular relevance; the considered novel or cannot be considered when the document is taken alone</li> </ul>	ation but cited to understand nvention  claimed invention cannot be dered to involve an inventive						
cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)  "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art document member of the same patent family							
Date of the actual completion of the international search 28 April, 2005 (28.04.05)	Date of mailing of the international sea 17 May, 2005 (17.09							
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer							
Facsimile No.	Telephone No.							
Facsimile No.	reiepnone ivo.							

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/003694

C (Continuation	). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT	
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
P,X	Nantapong N. et al., "Effect of NADH dehydrogenase-disruption and over-expression on respiration-related metabolism in Corynebacterium glutamicum KY9714", Appl Microbiol Biotechnol, 2004.12, Vol.66, page 187 to 193	1-26
А	Molenaar D. et al., "Functions of the membrane-associated and cytoplasmic malate dehydrogenases in the citric acid cycle of Corynebacterium glutamicum.", J. Bacteriol., 2000.12, Vol.182, pages 6884-91.	1-26
A	Bjorklof K., "Purification of the 45 kDa, membrane bound NADH degydrogenase of Escherichia coli (NDH-2) and analysis of its interaction with ubiquinone analogues.", FEBS Lett., Vol.467, No.1, 04 February, 2000 (04.02.00), pages 105 to 110	1-26

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int.Cl.7 C12N15/09, 1/21, C12P13/04

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int.Cl.7 C12N15/09, 1/21, C12P13/04

#### 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1922-1996年

日本国公開実用新案公報

1971-2005年

日本国実用新案登録公報

1996-2005年

日本国登録実用新案公報

1994-2005年

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

JSTPLUS (JOIS), BIOSIS/WPI (DIALOG), SwissProt/PIR/GeneSeq, GenBank/EMBL/DDBJ/GeneSeq, MEDLINE (STN)

### C. 関連すると認められる文献

し・   肉煙 ダマ	し、							
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号						
Y	"Corynebacterium glutamicum ndh gene."Database Genbank Accession No.AJ238250,2000.12.03[retrieved on 2005-04-25]	1–20, 22, 25, 26						
Y	JP 2002-17361 A(味の素株式会社),2002.01.22 & US 2002/0160461 A1 &EP 001170376 A1 & AU 005416901 A1 & CN 001335401 A & BR 000102666 A & PL 000348448 A	1–20, 22, 25, 26						
Y	Bott M et al.," The respiratory chain of Corynebacterium glutamicum.", J Biotechnol. ,2003.09.04,Vol.104,pp.129-53	1–20, 22, 25, 26						

## ▼ C欄の続きにも文献が列挙されている。

#### パテントファミリーに関する別紙を参照。

#### \* 引用文献のカテゴリー

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用す る文献(理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

#### の日の後に公表された文献

- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

## 国際調査を完了した日

28.04.2005

#### 国際調査報告の発送日

17. 5. 2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員)

4B 3435

飯室 里美

電話番号 03-3581-1101 内線 3448

C (続き).	関連すると認められる文献	
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
· P, X	Nantapong N et al.," Effect of NADH dehydrogenase disruption and over-expression on respiration related metabolism in Corynebacterium glutamicum KY9714.", Appl Microbiol Biotechnol, 2004.12, Vol. 66,pp.187-93	1–26
A	Molenaar D et al., "Functions of the membrane associated and cytoplasmic malate dehydrogenases in the citric acid cycle of Corynebacterium glutamicum.", J Bacteriol., 2000.12, Vol. 182, pp. 6884-91.	1-26
A	Bjorklof K, "Purification of the 45 kDa, membrane bound NADH dehydrogenase of Escherichia coli (NDH-2) and analysis of its interaction with ubiquinone analogues.", FEBS Lett., Vol.467,No.1, 2000.02.04, pp.105-10	1-26
		1